

科目名	キャリア教育	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐藤 和樹
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	火曜1限 曜日・時限
教員の略歴	専門学校を卒業後、音楽制作会スクランブルズに入社。KAT-TUNやSixTONES初めBish等様々なメジャーアーティストに楽曲提供をする。						
授業の学習 内容	グループ構成の認識、メールのマナーや社会常識のマナー講義、マナー講座、社会生活を営む上での心構えなど 社会人基礎力向上のための講座。						
到達目標	人間教育として社会出ていく人間的基盤の構築と、専門学校生活に伴う基本的な心構えやグループワークに伴う 他者と自我の認識の構築。社会に出ていくための基本的なマナーの構築。TPOや常識的な感覚を養う。 また報・連・相の徹底や、クラスのノームの構築と健全なクラス運営を目指す。						
評価方法と基準	授業内評価: 30% 課題: 70%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	ITリテラシーを理解し、IT環境に対応できるようにする。	ITリテラシー冊子
2		演習	守秘義務に関する理解	ITリテラシー冊子
3		演習	デビューバンク等のビューツールの作成	デビューバンクID作成
4		演習	個人サンプル作成①	個人資料作成準備
5		演習	個人サンプル作成②	個人資料作成準備
6		演習	個人サンプル作成③	個人資料作成準備
7		演習	目標シート作成①	曼荼羅シート事前記入
8		演習	目標シート作成②	曼荼羅シート事前記入
9		演習	目標シート作成③	曼荼羅シート事前記入
10		演習	スケジュール管理・ビジネスメール	年間スケジュールの事前確認
11		演習	スケジュール管理・ビジネスメール	年間スケジュールの事前確認
12		演習	ホスピタリティについて①	JIKEIオンライン視聴
13		演習	ホスピタリティについて②	JIKEIオンライン視聴
14		演習	実践ワークショップ①	復習
15		演習	実践ワークショップ①	復習
16		演習	前期実施内容の振り返り	前期配布資料整理
17		演習	業界用語①	配布資料確認
18		演習	業界用語②	配布資料確認
19		演習	業界マナー①	配布資料確認
20		演習	業界マナー②	配布資料確認
21		演習	社会人基礎力①主体性について	配布資料確認
22		演習	社会人基礎力①主体性について	配布資料確認
23		演習	グループワーク	ワークシート事前記入
24		演習	社会人基礎力②働きかけ力について	配布資料確認
25		演習	社会人基礎力②働きかけ力について	配布資料確認
26		演習	グループワーク	ワークシート事前記入
27		演習	社会人基礎力③実行力	配布資料確認
28		演習	社会人基礎力③実行力	配布資料確認
29		演習	グループワーク	ワークシート事前記入
30		演習	実践ワークショップ	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	佐藤 和樹
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	月曜2限
教員の略歴	専門学校を卒業後、音楽制作会スクランブルズに入社。KAT-TUNやSixTONES初めBish等様々なメジャーアーティストに楽曲提供をする。						
授業の学習 内容	グループ構成の認識、メールのマナーや社会常識のマナー講義、マナー講座、社会生活を営む上での心構えなど 社会人基礎力向上のための講座。						
到達目標	人間教育として社会出ていく人間的基盤の構築と、専門学校生活に伴う基本的な心構えやグループワークに伴う 他者と自我の認識の構築。社会に出ていくための基本的なマナーの構築。TPOや常識的な感覚を養う。 また報・連・相の徹底や、クラスのノームの構築と健全なクラス運営を目指す。						
評価方法と基準	授業内評価: 30% 課題: 70%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	ITリテラシーを理解し、IT環境に対応 できるようにする。	ITリテラシー冊子
2		演習	守秘義務に関する理解	ITリテラシー冊子
3		演習	デビューバンク等のデビューツールの リニューアル	デビューバンクID作成
4		演習	個人サンプル作成①	個人資料作成準備
5		演習	個人サンプル作成②	個人資料作成準備
6		演習	個人サンプル作成③	個人資料作成準備
7		演習	目標シート作成①	曼荼羅シート事前記入
8		演習	目標シート作成②	曼荼羅シート事前記入
9		演習	目標シート作成③	曼荼羅シート事前記入
10		演習	業界講義①	企業研究
11		演習	業界講義②	企業研究
12		演習	ビジネス基礎①	配布資料確認
13		演習	ビジネス基礎②	配布資料確認
14		演習	実践ワークショップ①	復習
15		演習	実践ワークショップ①	復習
16		演習	前期実施内容の振り返り	前期配布資料整理
17		演習	業界用語①	配布資料確認
18		演習	業界用語②	配布資料確認
19		演習	業界マナー①	配布資料確認
20		演習	業界マナー②	配布資料確認
21		演習	社会人基礎力①リーダーシップについて	配布資料確認
22		演習	社会人基礎力①リーダーシップについて	配布資料確認
23		演習	グループワーク	ワークシート事前記入
24		演習	社会人基礎力②コンプライアンスについて	配布資料確認
25		演習	社会人基礎力②コンプライアンスについて	配布資料確認
26		演習	グループワーク	ワークシート事前記入
27		演習	社会人基礎力③お金について	配布資料確認
28		演習	社会人基礎力③お金について	配布資料確認
29		演習	グループワーク	ワークシート事前記入
30		演習	実践ワークショップ	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	佐藤 和樹
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	月曜2限 曜日・時限
教員の略歴	専門学校を卒業後、音楽制作会スクランブルズに入社。KAT-TUNやSixTONES初めBlis等様々なメジャーアーティストに楽曲提供をする。						
授業の学習 内容	グループ構成の認識、メールのマナーや社会常識のマナー講義、マナー講座、社会生活を営む上での心構えなど 社会人基礎力向上のための講座。						
到達目標	人間教育として社会出ていく人間的基盤の構築と、専門学校生活に伴う基本的な心構えやグループワークに伴う 他者と自我の認識の構築。社会に出ていくための基本的なマナーの構築。TPOや常識的な感覚を養う。 また報・連・相の徹底や、クラスのノームの構築と健全なクラス運営を目指す。						
評価方法と基準	授業内評価: 30% 課題: 70%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	ITリテラシーを理解し、IT環境に対応 できるようにする。	ITリテラシー冊子
2		演習	守秘義務に関する理解	ITリテラシー冊子
3		演習	デビューバンク等のデビューツールの リニューアル	デビューバンクID作成
4		演習	個人サンプル作成①	個人資料作成準備
5		演習	個人サンプル作成②	個人資料作成準備
6		演習	個人サンプル作成③	個人資料作成準備
7		演習	目標シート作成①	ステップアップシート事前記入
8		演習	目標シート作成②	ステップアップシート事前記入
9		演習	目標シート作成③	ステップアップシート事前記入
10		演習	業界講義①	企業研究
11		演習	業界講義②	企業研究
12		演習	ビジネス基礎①	配布資料確認
13		演習	ビジネス基礎②	配布資料確認
14		演習	実践ワークショップ①	復習
15		演習	実践ワークショップ①	復習
16		演習	前期実施内容の振り返り	前期配布資料整理
17		演習	業界用語①	配布資料確認
18		演習	業界用語②	配布資料確認
19		演習	業界マナー①	配布資料確認
20		演習	業界マナー②	配布資料確認
21		演習	社会人基礎力①リーダーシップについて	配布資料確認
22		演習	社会人基礎力①リーダーシップについて	配布資料確認
23		演習	グループワーク	ワークシート事前記入
24		演習	社会人基礎力②コンプライアンスについて	配布資料確認
25		演習	社会人基礎力②コンプライアンスについて	配布資料確認
26		演習	グループワーク	ワークシート事前記入
27		演習	社会人応用力③お金について	配布資料確認
28		演習	社会人応用力③お金について	配布資料確認
29		演習	グループワーク	ワークシート事前記入
30		演習	実践ワークショップ	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	グローバルコミュニケーション	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	フィリップ ジョージ
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年 火曜
教員の略歴	2015年ミズーリ工科大を卒業。2016年以降英語、物理、システムエンジニアとして外資企業で従事。						
授業の学習 内容	将来、多国籍の人々と仕事をするために、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解する「グローバルマインド」と「コミュニケーション力」を兼ね備える。 総合的な英語力①Listening(リスニング力)②Writing(筆記力)③Reading(読解力)④Speaking(会話力)を身につける。						
到達目標	よく使われる日常的表现と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。 自分や他人を紹介することができ、個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。						
評価方法及び基準	定期試験(全4回) 100% CEFR Level A1						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		演習	Be動詞(am, are)の肯定形、否定形を学ぶ/出身地をたずねる表現を学ぶ 個人的な情報をたずねる・説明する表現を学ぶ 疑問代名詞(What)の使い方を学ぶ		教科書の予習・復習		
2		演習	I / ʌ / əの発音を学ぶ 個人的な経歴等のプロフィールを読む・書く/大文字、ピリオドの使い方を学ぶ		教科書の予習・復習		
3		演習	「はい」「いいえ」で答える質問における I / Are)の使い方を学ぶ 家族について話す プレゼンテーション		教科書の予習・復習		
4		演習	I / Are)の否定形を学ぶ/友達や家族について話す 年齢、誕生日に関する表現を学ぶ/直する言葉を学ぶ		教科書の予習・復習		
5		演習	友達の画像にスライドを入れたり、書かれている情報を読みとる 場所に関する前置詞を学ぶ プレゼンテーション		教科書の予習・復習		
6		演習	所有形容詞(a & s)を学ぶ/家について話す [it is]の使い方を学ぶ/家具について話す		教科書の予習・復習		
7		演習	飲み物・スナックをお勧めする/もう表現を学ぶ/分からない単語について質問する ホームシェアについてのメールを読む、書く		教科書の予習・復習		
8		演習	「現在形」陳述文を学ぶ (I, you, we)好きな事について話す 定期試験/振り返り プレゼンテーション		教科書の予習・復習		
9		演習	「現在形」疑問文を学ぶ (I, you, we)技術の使い方を説明する 連絡を取り合う方法について話す/相手の話を聞いておくことを示す		教科書の予習・復習		
10		演習	商品のレビューを読む、書く プレゼンテーション		教科書の予習・復習		
11		演習	「現在形」陳述文(肯定形、否定形)を学ぶ (he, she, they)平日、週末のアクティビティについて話す 「現在形」疑問文 (yes/no / WH-question)を学ぶ/時間・ルーティンについて話す		教科書の予習・復習		
12		演習	頻度副詞を使い、質問に短く答える賛成を表す表現を学ぶ 未達成を表す表現を学ぶ 日常のアクティビティについてのレポートを読む、書く		教科書の予習・復習		
13		演習	There (is, are), (a lot, some no)の使い方を学ぶ/町にある場所について話す プレゼンテーション		教科書の予習・復習		
14		演習	「可算名詞・不可算名詞」を学ぶ/近所にある自然について話す 道順について尋ねる、また教える際に使う表現を学ぶ/情報を確認する		教科書の予習・復習		
15		演習	場所についての特徴について読む、書く 定期試験/振り返り プレゼンテーション		教科書の予習・復習		
16		演習	「現在進行形」陳述文(肯定形、否定形)を学ぶ/自宅周辺の生活について話す 「現在進行形」疑問文を学ぶ/旅行について話す		教科書の予習・復習		
17		演習	「-ing」の発音を学ぶ 電話でニュースを伝える 最近の出来事についてのブログ記事を読む、書く		教科書の予習・復習		
18		演習	Can / Can't(能力)を使う/陳述文・疑問文を学ぶ/自身のスキルや能力について話す プレゼンテーション		教科書の予習・復習		
19		演習	Can / Can't(可能性)を使う/陳述文・疑問文を学ぶ 職業・学校において、できること/できないことについて話す 自分の意見を述べる/自分はある仕事の適任者であることを説明する		教科書の予習・復習		
20		演習	自分の意見について、オンラインでコメントを読む、書く プレゼンテーション		教科書の予習・復習		
21		演習	This / These)の使い方を学ぶ/休暇、旅行について話す like to, want to, need to, have to)の使い方を学ぶ;使い分けがわかる旅行計画を立てる		教科書の予習・復習		
22		演習	お店で情報を確認する/もう一回言ってもらえる表現を学ぶ 旅行ガイドを読む、また場所の説明を書く		教科書の予習・復習		
23		演習	be going to) (陳述文)の使い方を学ぶ 週末に向けたアウトドア活動の計画について話す/プレゼンテーション		教科書の予習・復習		
24		演習	be going to) (疑問文)の使い方を学ぶ/旅行の時に着る服装について話す あることをやらない理由を説明する		教科書の予習・復習		
25		演習	オンラインでの招待状を読む、書く プレゼンテーション		教科書の予習・復習		
26		演習	「過去形」(was / were)の陳述文を学ぶ/過去にあった人、ことについて話す 「過去形」(was / were)の疑問文を学ぶ/色、記憶について話す		教科書の予習・復習		
27		演習	次の発言を考えたときに使う/用語を学ぶ/映画、俳優について話す 思い出の品についての記事やメールを読む、書く		教科書の予習・復習		
28		演習	「過去形」の陳述文を練習する/スナック、軽食について話す プレゼンテーション		教科書の予習・復習		
29		演習	「過去形」の疑問文を練習する/レストランでの食事について話す (so / really) (強調する)の使い方を学ぶ/食べ物・飲み物を注文する レストランのレビューを読む、書く		教科書の予習・復習		
30		演習	プレゼンテーション 定期試験/振り返り		教科書の予習・復習		
準備学習				時間外学習			
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	グローバルコミュニケーション	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	フィリップ ジョージ
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年 火曜
教員の略歴	2015年ミズーリ工科大を卒業。2016年以降英語、物理、システムエンジニアとして外資企業で従事。						
授業の学習 内容	将来、多国籍の人々と仕事をするために、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解する「グローバルマインド」と「コミュニケーション力」を兼ね備える。 総合的な英語力①Listening(リスニング力)②Writing(筆記力)③Reading(読解力)④Speaking(会話力)を身につける。						
到達目標	英語の4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。						
評価方法及び基準	定期試験(全4回) 100% CEFR Level A2						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	所有形容詞を学ぶ 知人・家族について話す 所有代名詞(whose)を学ぶ	教科書の予習・復習
2		演習	話の切り出し方を学ぶ、会話を始める表現を学ぶ 驚きの気持ちを表す表現及び関心を示す表現を学ぶ	教科書の予習・復習
3		演習	習慣・ルーティンについて質問する [Wh-question] を練習する プレゼンテーション	教科書の予習・復習
4		演習	名詞の代わりに[this, that, these, those]の使い方を学ぶ 職場について話す 繰り返しを求める表現を学ぶ	教科書の予習・復習
5		演習	ポッドキャストについての意見を読む、書く プレゼンテーション	教科書の予習・復習
6		演習	「現在進行形」を学ぶ・復習する今していることについて話す 「現在進行形」「単純現在形」を練習するスポーツ、 情報を得るため、必要な表現を学ばない情報を チェックする	教科書の予習・復習
7		演習	サービス業界の会社へのメッセージを読む、書く 将来のことを説明する際に使う「現在進行形」を学 ぶ将来のプランについて話す	教科書の予習・復習
8		演習	「目的語」の使い方を学ぶ贈り物について話す 招待する、招待に応える表現を学ぶ招待を断る理 由を説明する	教科書の予習・復習
9		演習	イベントへの招待を読む、書く プレゼンテーション	教科書の予習・復習
10		演習	人生の中での過去のイベントについて話す 自分の意見を述べる、自分の気持ちを相手に伝わる	教科書の予習・復習
11		演習	お祝いの言葉を学ぶ/人の気持ちを推察する表現 を学ぶ 自分の認識が正しいかどうかを確認する	教科書の予習・復習
12		演習	[be going to]を復習する 買い物に行くことについて会話する プレゼンテーション	教科書の予習・復習
13		演習	「限定詞」を学ぶ 買い物習慣について話す 店内で欲しいものについて述べる物事の言い方を 新しい商品の説明を読む、Vlog(ビデオブログ)のた めのスクリプトを書く	教科書の予習・復習
14		演習	「数量詞」を学ぶ/一番好きな食べ物について話す キッチンカーをデザインする/「動詞型」を学ぶ	教科書の予習・復習
15		演習	レストランで頼みたいものについて説明する/「I mean」を使い、会話を練習する 「Fast food」店についての記事を読む、また記事 [It's when]の使い方を学ぶ	教科書の予習・復習
16		演習	自分の町で何をやるかについて話す 「I'm going to」 の「to」を学ぶ、理由を説明する過去に行つた旅 行について話す	教科書の予習・復習
17		演習	「問い返」疑問文を学ぶ プレゼンテーション	教科書の予習・復習
18		演習	海外生活についてのアドバイスを読む、書く プレゼンテーション	教科書の予習・復習
19		演習	「形容詞の比較級」を学ぶ お店とお店の売り物を比較する	教科書の予習・復習
20		演習	「形容詞の最高級」を学ぶ 写真に写った人につい て I guess を使い、意見を尋ねる、または述べる 広告を読む、また写真の説明を書く	教科書の予習・復習
21		演習	「have to」の使い方を学ぶ/職場での危険を回避す ることについて話す	教科書の予習・復習
22		演習	将来の予定を立てる表現を学ぶ健康問題について 話す	教科書の予習・復習
23		演習	「It feels like (it's like)」を使い、健康問題について 未来の自分へのメールを書く プレゼンテーション	教科書の予習・復習
24		演習	「現在完了形」を学ぶ したことがあること、ないことについて話す	教科書の予習・復習
25		演習	人に頼む際に使う敬語を学ぶ頼む際に使う表現を学 ぶ	教科書の予習・復習
26		演習	インフォグラフィックを読む、カルチャーについての [be like]を使い、天気について話す プレゼンテーション	教科書の予習・復習
27		演習	「関係代名詞who, which, that」の使い方を学ぶ場 所、人、物事を説明する	教科書の予習・復習
28		演習	遠を聞く、道順を教える際に使う表現を学ぶ言い方 場所についての説明を読む、方法についての説明 リストを書く	教科書の予習・復習
29		演習	プレゼンテーション	教科書の予習・復習
30		演習		教科書の予習・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	グローバルコミュニケーション	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	MARK ZOLOTAR
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分 曜日・時限	通年 土曜
教員の略歴	2013年カナダビクトリア大学修士課程修了、その後日本の英会話教室、専門学校等で子どもから大人までの英語授業を担当。 2018年英会話教室を開業(CEO)、現在は自身の英会話教室と合わせて、ILCIに所属する英会話講師。						
授業の学習 内容	将来、多国籍の人々と仕事をするために、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解する「グローバルマインド」と「コミュニケーション力」を兼ね備える。 総合的な英語力①Listening(リスニング力)②Writing(筆記力)③Reading(読解力)④Speaking(会話力)を身につける。						
到達目標	英語の4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。						
評価方法及び基準	定期試験(全4回) 100% CEFR Level A2						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	[WH-question]を使って相手の性格について尋ねる 会話を練習する 「間接疑問文」を使って、人に質問をする。	教科書の予習・復習
2		演習	自己紹介と他己紹介に関する会話を練習する 誰かと知り合いになるためのメールを書く	教科書の予習・復習
3		演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「良いリーダーになるために必要なこと」 現在進行形を使って持ち物について話す	教科書の予習・復習
4		演習	現在完了形を使って持ち物やその機能などについて話す 聞き返しの表現や話題を変える際の表現を使って	教科書の予習・復習
5		演習	欲しいものについての広告を書く ロールプレイ・プレゼンテーション「出かける時の持ち物について」	教科書の予習・復習
6		演習	冠詞に注意しながら、自分の町について尋ねる、また質問に答える練習をする [would/could/should]を使って、他の場所への生き	教科書の予習・復習
7		演習	建物内の道案内の場面での会話を練習する 求人に対して志望動機を書く	教科書の予習・復習
8		演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「自分の町の人気な場所についてプレゼンをする」 [be going to/will]を使って、週末の予定について話	教科書の予習・復習
9		演習	[be going to/will]を使って、旅行の計画について話す 心配や不安になる状況での会話を練習する	教科書の予習・復習
10		演習	イベント内容やスケジュールについての情報を伝えるメールを書く ロールプレイ・プレゼンテーション「さまざまな人に異	教科書の予習・復習
11		演習	単純過去形を使って、失くした物や、見つけたものについて話す 単純過去形、過去進行形を使って、助けが必要に	教科書の予習・復習
12		演習	驚いたできごとについて話す 短い物語を書く	教科書の予習・復習
13		演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「おもしろい、驚くストーリー」 数量詞を使って、都会の問題について話す	教科書の予習・復習
14		演習	現在・未来の条件節を使って、問題と解決策について話す [though]を使って反対意見を述べる練習をする	教科書の予習・復習
15		演習	価値観についてのネット投稿に対し、自分のコメント(考え)を書く プレゼンテーション	教科書の予習・復習
16		演習	比較級を使って言葉についての好みの変化について話す 比較の表現を使って、TV番組や映画について話す	教科書の予習・復習
17		演習	誤いを断る必要がある場面での会話を練習する 映画のレビューを書く	教科書の予習・復習
18		演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「メディアやエンターテイメントにおける好みの違い」 タイムマネジメントについての投稿を書く	教科書の予習・復習
19		演習	現在完了進行形を使って、進行形を役立て、物事の進捗について話す 他人のニュースについて、自分の意見を述べる	教科書の予習・復習
20		演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「時間を有効に使う方法」 助詞[have to, need to, must]を使って、大学や学校で学ぶ科目について話す	教科書の予習・復習
21		演習	助詞[have to, need to, must]を使って、大学や学校で学ぶ科目について話す 動詞の現在形と過去形を使って、在学経験・自定学	教科書の予習・復習
22		演習	動詞の現在形と過去形を使って、在学経験・自定学について話す 自分の履歴書について、要点を書く	教科書の予習・復習
23		演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「自分が言った完璧な仕事をデザインする」 商品の素材や材料について話す	教科書の予習・復習
24		演習	商品の生産地について話す 買いたいものについて話す、理由を尋ねる練習をする	教科書の予習・復習
25		演習	商品に関するレビューを書く ロールプレイ・プレゼンテーション「商品のCMを作成	教科書の予習・復習
26		演習	動詞[work out, set up, など]を使って、成功の秘訣について話す 現在・未来の条件文を使って、想像上のチャレンジ	教科書の予習・復習
27		演習	意見を述べる、了承を求める練習をする 自身の身に起きた出来事について書く。	教科書の予習・復習
28		演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「誰れの人について」 事故について話す	教科書の予習・復習
29		演習	体験した極端な出来事について話す ある出来事に関する、自身の感情、気持ちを話す	教科書の予習・復習
30		演習	動詞[work out, set up, など]を使って、成功の秘訣について話す プレゼンテーション 定期試験、振返り	教科書の予習・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ミュージックセオリー	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	今藤雅博
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	水曜1限 曜日・時間
教員の略歴	2007年よりミュージシャンとしてアーティストの演奏サポート、セッション、作編曲で活動						
授業の学習 内容	五線譜の基本的なルール 音程 調号 コード導入						
到達目標	音程を正確に理解できる 調号を覚える						
評価方法と基準	1) 定期テスト60% 2) 授業内評価40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	楽譜の仕組みを学ぶ	iPadテキストを読み込む
2		演習	半音と全音/メジャースケールを学ぶ	半音と全音について鍵盤を用いて確認する
3		演習	音程を学ぶ①/変化記号	長短音程の学習、変化記号の確認する
4		演習	音程を学ぶ②	テキストの音程について読んでおく
5		演習	音程を学ぶ③	完全音程の学習する
6		演習	音程を学ぶ④	音程のまとめをする
7		演習	調号を学ぶ①	#系の覚え方を学習する
8		演習	調号を学ぶ②	b系の覚え方を学習する
9		演習	調号を学ぶ③	マイナーキーでも分かるようにする
10		演習	調号を学ぶ④	調号のまとめを復習する
11		演習	テスト	これまでの内容を復習
12		演習	コードを学ぶ	トライアドの構成を理解する
13		演習	コードトーンを学ぶ	トライアドのコードトーンを理解する
14		演習	7thコードを学ぶ①	M7th 7thの違い、4音和音の導入をする
15		演習	7thコードを学ぶ②	使用頻度の高い種類から学習する
16		演習	7thコードを学ぶ③	7thコードのコードトーンを理解する
17		演習	ダイアトニックコードを学ぶ①	音階との関連を意識する
18		演習	ダイアトニックコードを学ぶ②	各コードの役割を覚える
19		演習	ダイアトニックコードを学ぶ③	各コードの役割を覚える
20		演習	マイナーダイアトニックコードを学ぶ①	メジャーダイアトニックの復習も行う
21		演習	マイナーダイアトニックコードを学ぶ②	マイナーダイアトニックコードの学習する
22		演習	マイナーダイアトニックコードを学ぶ③	Hm Mm のコード機能を復習する
23		演習	テスト	これまでの内容を復習する
24		演習	セカンダリドミナントコードを学ぶ①	ノンダイアトニックコードを学習する
25		演習	セカンダリドミナントコードを学ぶ②	セカンダリドミナントの解決について復習する
26		演習	セカンダリドミナントコードを学ぶ③	マイナーキーで考える
27		演習	代理ドミナントコードを学ぶ	代理ドミナントの考え方を復習する
28		演習	テンションノートを学ぶ①	メジャーキーで学習する
29		演習	テンションノートを学ぶ②	マイナーキーで学習する
30		演習	テスト	これまでの内容を復習する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ミュージックセオリー	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	今藤雅博
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	木曜1限 曜日・時限
教員の略歴	2007年よりミュージシャンとしてアーティストの演奏サポート、セッション、作編曲で活動						
授業の学習内容	マイナーダイアトニックコード ノンダイアトニックなドミナントコード テンションノート						
到達目標	マイナーダイアトニックコードの仕組みと、コード機能を理解する。 ノンダイアトニックなドミナントコードを理解する。 各コードで使用可能なテンションノートを理解する。						
評価方法と基準	1) 定期テスト60% 2) 授業内評価20% 3) 授業態度20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	演習	ドミナント系コードのテンションノートを学ぶ①	テンションの組み合わせについて復習する
2	/	演習	ドミナント系コードのテンションノートを学ぶ②	テンションの組み合わせについて復習する
3	/	演習	借用されたサブドミナントマイナーコードを学ぶ	借用された場合のテンションの違いを復習する
4	/	演習	変則的なサブドミナントコードを学ぶ	起源と使用法、テンションノートを復習する
5	/	演習	ディミニッシュコードを学ぶ	使用法とテンションノートを復習する
6	/	演習	アヴェイラブルノートスケールを学ぶ 導入	テンションノートとの関係性についてを復習する
7	/	演習	アヴェイラブルノートスケールを学ぶ①	ドミナント以外のコードを扱って復習する
8	/	演習	アヴェイラブルノートスケールを学ぶ②	ドミナント系コードを扱って復習する
9	/	演習	テスト	これまでの内容を復習する
10	/	演習	和声学の基礎知識を学ぶ	配分、禁則事項についてを復習する
11	/	演習	3和音基本形を学ぶ①	バス課題を復習する
12	/	演習	3和音基本形を学ぶ②	ソプラノ課題を復習する
13	/	演習	3和音 転回形を学ぶ①	バス課題を復習する
14	/	演習	3和音 転回形を学ぶ②	ソプラノ課題を復習する
15	/	演習	転調と反復進行を学ぶ①	バス課題を復習する
16	/	演習	転調と反復進行を学ぶ②	バス課題を復習する
17	/	演習	転調と反復進行を学ぶ③	ソプラノ課題を復習する
18	/	演習	転調と反復進行を学ぶ④	ソプラノ課題を復習する
19	/	演習	属七和音を学ぶ①	バス課題を復習する
20	/	演習	属七和音を学ぶ②	バス課題を復習する
21	/	演習	属七和音を学ぶ③	バス課題を復習する
22	/	演習	属七和音を学ぶ①	ソプラノ課題を復習する
23	/	演習	属七和音を学ぶ②	ソプラノ課題を復習する
24	/	演習	属七和音を学ぶ③	ソプラノ課題を復習する
25	/	演習	副七和音を学ぶ①	バス課題を復習する
26	/	演習	副七和音を学ぶ②	ソプラノ課題を復習する
27	/	演習	属九和音を学ぶ①	バス課題を復習する
28	/	演習	属九和音を学ぶ②	バス課題を復習する
29	/	演習	属九和音を学ぶ②	ソプラノ課題を復習する
30	/	試験	テスト	これまでの内容を復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イヤートレーニング	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	今藤雅博
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	水曜2限
教員の略歴	2007年よりミュージシャンとしてアーティストの演奏サポート、セッション、作編曲で活動						
授業の学習 内容	リズム打ち 視唱 聴音						
到達目標	音程、リズム、メロディーを声に出して読み取れる ハ長調の旋律聴音ができる						
評価方法と基準	1) 定期試験60% 2) 授業内評価40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	オリエンテーション～楽譜の読み書きを聴き取り、譜面におこす	楽譜の読み方、書き方を復習する
2		演習	3度までの音程、四分音符中心を聴き取り、譜面におこす	2度音程との違いを意識し復習する
3		演習	3度までの音程、全音符、二分音符を聴き取り、譜面におこす	休符に注意し復習する
4		演習	3度までの音程で聴音を聴き取り、譜面におこす	休符に注意しながら音程をとり復習する
5		演習	4度までの音程で聴音 八分音符を聴き取り、譜面におこす	4度音程を感じ取り復習する
6		演習	4度5度までの音程で聴音を聴き取り、譜面におこす	5度音程を感じ取り復習する 八分音符導入
7		演習	5度6度までの音程で聴音付点リズムを聴き取り、譜面におこす	6度音程を感じ取り復習する 八分休符
8		演習	6度7度までの音程で聴音を聴き取り、譜面におこす	7度音程を感じ取り復習する
9		演習	1オクターヴまでの音程で聴音を聴き取り、譜面におこす	オクターヴ跳躍を復習する 付点リズム導入
10		演習	1オクターヴまでの音程で聴音を聴き取り、譜面におこす	苦手な跳躍があればよく歌う事
11		試験	テスト	これまでの総復習をする
12		演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	音程、休符を正しく把握するし復習する
13		演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	付点リズムの休符を復習する
14		演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	音が切れるのかか伸びるのか意識し復習する
15		演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	ハ長調以外の長調を復習する
16		演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	3音符を復習する
17		演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	16分音符を復習する
18		演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	2度音程との違いを意識し復習する
19		演習	短調導入を聴き取り、譜面におこす	3種類の短調を復習する
20		演習	短調による単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	変化する音を覚える
21		演習	短調による単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	6.7番目の音に注意を復習する
22		演習	変化音導入を聴き取り、譜面におこす	変化音のとらえかたを復習する
23		演習	変化音を含む単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	調性外の音を感じ取りを復習する
24		演習	変化音を含む単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	半音変化を意識し復習する
25		演習	変化音を含む単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	経過的变化と刺繍的变化を復習する
26		演習	変化音を含む単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	これまでの内容を整理を復習する
27		演習	2声課題を聴き取り、譜面におこす	へ音記号 を復習する
28		演習	聴き取り方について学ぶ	短い課題を復習する
29		演習	単旋律聴音と2声聴音を聴き取り、譜面におこす	苦手な跳躍があればよく歌う事
30		演習	テスト	これまでの総復習をする
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イヤートレーニング	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	今藤雅博
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時間	木曜2限
教員の略歴	2007年よりミュージシャンとしてアーティストの演奏サポート、セッション、作曲で活動						
授業の学習内容	リズム打ち 視唱 聴音						
到達目標	音程、リズム、メロディーを声に出して読み取れる ハ長調の旋律聴音ができる						
評価方法と基準	1) 定期試験60% 2) 授業内評価40%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1	/	講義・演習	オリエンテーション～2年次の概要を説明する	1年時の復習	
2	/	講義・演習	2声課題を聴き取り、譜面におこす	ト音記号を復習する	
3	/	講義・演習	3声課題を聴き取り、譜面におこす	ヘ音記号を復習する	
4	/	講義・演習	聴き取り方について学ぶ	短い課題を復習する	
5	/	講義・演習	効果音について学ぶ	教科書10Pを復習	
6	/	講義・演習	聴いたリズムを単純に再現する	教科書12Pを復習	
7	/	講義・演習	聴いたリズムをビートを感じながら再現する	教科書13Pを復習	
8	/	講義・演習	聴いたリズムをビートとバーを感じながら再現する	教科書14Pを復習	
9	/	講義・演習	聴いたリズムをビートとバーを感じながら再現する	教科書14P～21Pを復習	
10	/	講義・演習	聴いた音をスケッチするトレーニング/音を図面に表す	教科書22P～23Pを復習	
11	/	講義・演習	聴いた音をスケッチするトレーニング/現代音楽を図面に表す	教科書24P～27Pを復習	
12	/	講義・演習	前期まとめ	変化音、2声旋律の聴き取り方等	
13	/	試験	テスト	これまでの総復習をする	
14	/	講義・演習	聴いたメロディー単純に再現する	教科書28Pを復習	
15	/	講義・演習	聴いたメロディーをビートを感じながら再現する	教科書29P～31Pを復習	
16	/	講義・演習	聴いたメロディーをビートとバーを感じながら再現する	教科書32P～38Pを復習	
17	/	講義・演習	単旋律聴音と2声聴音を聴き取り、譜面におこす	苦手な跳躍があればよく歌う事	
18	/	講義・演習	単旋律聴音と2声聴音を聴き取り、譜面におこす	移勢リズムに注意する	
19	/	講義・演習	単旋律聴音と2声聴音を聴き取り、譜面におこす	移勢リズムに注意する	
20	/	講義・演習	単旋律聴音と2声聴音を聴き取り、譜面におこす	大きい跳躍に注意する	
21	/	講義・演習	単旋律聴音と2声聴音を聴き取り、譜面におこす	大きい跳躍に注意する	
22	/	講義・演習	コードを聴き取り、譜面におこす	Triadでコードタイプの確認	
23	/	講義・演習	3和音を聴き取り、譜面におこす	aug dimの響きに慣れること	
24	/	講義・演習	4和音を聴き取り、譜面におこす	響きの特徴を自分なりに区別すること	
25	/	講義・演習	4和音を聴き取り、譜面におこす	苦手なコードタイプがあれば復習	
26	/	講義・演習	指揮法のトレーニングを行う	教科書93P～98Pを復習	
27	/	講義・演習	様々な表紙のリズムをトレーニングする	教科書99P～101Pを復習	
28	/	講義・演習	様々な序のメロディーをトレーニングする	教科書102P～110Pを復習	
29	/	講義・演習	1年間の振り返りを行う	これまでの内容を整理を復習する	
30	/	試験	テスト	これまでの総復習をする	
準備学習 時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	舞台基礎	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	佐藤晃彦
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分	火曜1.2限 曜日・時間
教員の略歴	1978年より音響やローディーなどの仕事に関わり、舞台監督としてREBECCA、THE BOOM、Char、中森明菜等のコンサートを制作する						
授業の学習 内容	舞台の専門用語、ルールなどを学び、即戦力として通用する知識を養う。 CADの基本的な操作方法を習得する。						
到達目標	舞台知識を習得し、CADを活用してコンサート、イベント資料を制作出来る。						
評価方法と基準	定期試験 70%、実習課題提出 30% 専門用語を使いこなせる。図面の内容を説明出来る。舞台平面図の描画が出来る。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	コンピューター教室の仕様を覚える/音楽業界で働く人の意識について理解する	テキストによる学習
2		演習	基本操作、操作画面を覚え、直線、四角形、円の描画が出来る	テキストによる学習
3		演習	オブジェクト情報、生成ダイアログを説明、メント線の比較操作が出来る	テキストによる学習
4		演習	基本パレットの2Dツールを操作、説明出来る	テキストによる学習
5		演習	レイヤ、クラス、前後関係について説明出来る	テキストによる学習
6		演習	舞台平面図を読める1/用語を説明出来る	テキストによる学習
7		演習	舞台平面図を読める2/用語を説明出来る	テキストによる学習
8		演習	舞台平面図を読める3/用語を説明出来る	テキストによる学習
9		演習	式典舞台での仕込、調整作業を説明出来、図面を描画出来る	テキストによる学習
10		演習	民謡舞台での仕込、調整作業を説明出来、図面を描画出来る	テキストによる学習
11		演習	反響板舞台での仕込、調整作業を説明出来、図面を描画出来る	テキストによる学習
12		演習	試験対策	テキストによる学習
13		演習	試験対策	テキストによる学習
14		試験	試験	テキストによる学習
15		演習	試験復習	テキストによる学習
16		演習	前期学習を復習し、ツールの使用方法を説明出来る	テキストによる学習
17		演習	山台・箱馬の仕込を説明出来る	テキストによる学習
18		演習	舞台美術プランを理解出来る	テキストによる学習
19		演習	ホール設備を使いこなすことが出来る	テキストによる学習
20		演習	コンサート現場の事故について説明出来る	テキストによる学習
21		演習	禁止行為解除申請書類が作成出来る	テキストによる学習
22		演習	客席の配置についてアレンジすることが出来る	テキストによる学習
23		演習	卒業・進級展のプランが出来る1	テキストによる学習
24		演習	卒業・進級展のプランが出来る2	テキストによる学習
25		演習	卒業・進級展のプランが出来る3	テキストによる学習
26		演習	卒業・進級展のプランが出来る4	テキストによる学習
27		演習	試験対策	テキストによる学習
28		演習	試験対策	テキストによる学習
29		試験	試験	テキストによる学習
30		演習	試験復習	テキストによる学習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	舞台基礎2	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	佐藤晃彦
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分 曜日・時限	火曜3.4限
教員の略歴	1978年より音響やローディーなどの仕事に関わり、舞台監督としてREBECCA、THE BOOM、Char、中森明菜等のコンサートを制作する						
授業の学習内容	現在コンサート業界では、音響、照明、舞台から客席図などまで殆どの場面でCAD「Vectorworks」を使用して図面を作成する。その操作を覚え、即戦力としてのスキルを身につける。						
到達目標	2Dによる図形の作成を覚え、舞台平面図を作成出来るようにする。						
評価方法と基準	定期試験 70%、実習課題提出 30% 2D図形の描画、用紙の設定、レイヤーの活用						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	講義	なぜCADを学ぶのか、CADソフトを紹介、コンピューター教室のルールを説明する	VectorWorksガイドブックをダウンロードしておく
2	／	講義 演習	基本操作/画面説明、用語説明、簡単な図形を描く	基本操作の復習をする
3	／	講義 演習	図形のサイズ変更、数値による図形作成を行う	様々なサイズ変更を試してみる
4	／	講義 演習	編集、マウスによる編集、スナップの重要性と図形スナップの練習をする	編集作業の復習をする
5	／	講義 演習	面と線の比較(包絡と逆転)をする	編集作業の復習をする
6	／	講義 演習	パッケージを題材に製図をする(面取り、フィルット、ミラー反転複写などを使う)	次週までに課題を作成する
7	／	講義 演習	寸法ツールを操作し入力する	次週までに課題を作成する
8	／	講義 演習	デザインレイヤとクラスの仕組みを学ぶ	編集作業の復習をする
9	／	講義 演習	ハッチング、グラデーション、イメージファイルの使用を学ぶ	編集作業の復習をする
10	／	講義 演習	移動の手法、基準点の使い方、整列コマンドを学ぶ	編集作業の復習をする
11	／	講義 演習	配列複製コマンド、図形を整列させる	編集作業の復習をする
12	／	講義 演習	3Dモデリング(3Dツールの使用)を学ぶ	編集作業の復習をする
13	／	講義 演習	プレゼンテーションボードの作成をする	次週までに課題を作成する
14	／	講義 演習	プレゼンテーションボードの作成をする	授業内で完成しない場合は宿題で完成させる
15	／	試験		
16	／	講義 演習	基本操作をおさらいする	1年時に使用したテキストの見直しをする
17	／	講義 演習	アニメーションを作成する	編集作業の復習をする
18	／	講義 演習	アニメーションを作成する	編集作業の復習をする
19	／	講義 演習	ワークシートとマクロを学ぶ	編集作業の復習をする
20	／	講義 演習	音響機材、照明機材の図面を作成する	次週までに課題を作成する
21	／	講義 演習	音響機材、照明機材の図面を作成する	次週までに課題を作成する
22	／	講義 演習	音響機材、照明機材の図面を作成する	授業内で完成しない場合は宿題で完成させる
23	／	講義 演習	機材図面とワークシートを関連づける	授業内で完成しない場合は宿題で完成させる
24	／	講義 演習	機材図面とワークシートを関連づける	授業内で完成しない場合は宿題で完成させる
25	／	講義 演習	舞台平面図にセット図を入力する	次週までに課題を作成する
26	／	講義 演習	舞台平面図にセット図を入力する	次週までに課題を作成する
27	／	講義 演習	舞台平面図を作成する 学校ホール	実寸を現場で採寸して、次週までに課題を作成する
28	／	講義 演習	客席平面図を作成する 学校ホール	実寸を現場で採寸して、次週までに課題を作成する
29	／	講義 演習	会場平面図を作成する 学校ホール	実寸を現場で採寸して、次週までに課題を作成する
30	／	試験		
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ステージ基礎	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	佐藤晃彦
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	金曜1限
教員の略歴	1978年より音響やローディーなどの仕事に関わり、舞台監督としてREBECCA、THE BOOM、Char、中森明菜等のコンサートを制作する						
授業の学習 内容	*音楽業界にとどまらず組織を円滑に運営するためマネジメントは重要でその基礎となる部分を体験していく *グループ、組織での合同実習などの際に「見学」から一歩踏み込んで自分の場を作る事を目指し、疑問→考え→行動まで移す。 *リーダーとマネジメントの違いに気付いてもらい、相手の立場や個性も尊重し合いながらミッションを達成するという最大目標を投げ出さず、到達させたい。 *わからない。失敗する。を前提としなるべく多くの答えを導き体験させたい。						
到達目標	締め切りまでのアップ率強化。対外的な見せ方、メモ強化。即行動。返事のレスポンス。[疑問を疑問のままで終わらせないなどを注意深く、根気強く、わかりやすく、ルービしながら教えていく。						
評価方法及び基準	1)定期テスト60% 2)授業内評価40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	実習	各自自己紹介と1年間の流れを説明する	授業及び実習に必要な準備物を確認する
2	／	実習	グループワークでコミュニケーションの糸口を探る	人前で発表する事を練習する
3	／	実習	マネジメントとマネージャーについて学ぶ	これまで持っていた概念と本来の意味のギャップを埋める
4	／	実習	合同授業(現場マネジメント)現場という空間の中で自分が準備しなければいけない事を学ぶ	行動に移さなければいけないことをシーンごとに確認する
5	／	実習	合同授業(学園祭反省会)学園祭の計画内容と、実際の行動での気づきを発表する。	正しい自己評価ができるか検証する
6	／	実習	制作費(予算)の算出を学ぶ	事業計画をするにあたって必要な制作費の算出項目とその算出方法を身に付ける
7	／	実習	現場マネジメント(スケジュール管理)ミュージカル実習を連動する	本番までのスケジュール管理をしていく、全体スケジュール表の制作とクラウドにアップする
8	／	実習	多様化していくプロモーションアイテムについて学ぶ	媒体の種類・方法について調べてみる
9	／	実習	WEBプロモーションの仕組みや印刷に関する基礎知識を学ぶ	媒体の種類・方法について調べてみる
10	／	実習	現場マネジメント(情報管理)ミュージカル実習を連動する	計画通りに進んでいるか、新規情報があるかなどをチェックしクラウドアップ・共有する
11	／	実習	現場マネジメント(プロモーション・運営計画)ミュージカル実習(決起集会)を連動する	伝えたいテーマ、目標、達成値などをメモし、その意向を自分でも十分外部に発信できるようにする
12	／	実習	現場マネジメント(制作計画)ミュージカル実習と連動する	現場で必要なデータを管理し、各セクションとのコミュニケーションの中心になるためのフォーマット作り、制作項目のチェックリスト作り、クラウドアップ
13	／	実習	現場マネジメント・アーティストケアを学ぶ	ミュージシャンのパフォーマンスが高くなるために必要な環境をどう作っていくか考える
14	／	実習	現場マネジメント・アーティストケアを実践する	手話指導やリハーサル時間外でどのようにコミュニケーションを構築していくか実践する
15	／	実習	現場マネジメント・アーティストケアを実践する	キャストの決定した段階で担当マネージャーを配置する
16	／	実習	現場マネジメント・アーティストケアを実践する	ホールリハーサル実習。タイムテーブルに従い円滑に進行できるようサポートする
17	／	試験	イベント本番	
18	／	実習	人を使う、人に教えることについて学ぶ	各セクション毎に練習とミッション遂行。
19	／	実習	業界対策に関する講義を行う	学んだ様々な対策を自身の業種や進路になぞらえて考える
20	／	実習	イベント運営を主催者目線で考える	コンセプトワークとマネジメントについて話し合う
21	／	実習	イベント企画を多方向から考える1	題材を基に各自のアイデアや事例を出し合いまとめる
22	／	実習	イベント企画を多方向から考える2	題材を基に各自のアイデアや事例を出し合いまとめる
23	／	実習	組織としてのイベント企画を行う1	卒業進級展を題材に運営計画を打ち合わせる
24	／	実習	組織としてのイベント企画を行う2	卒業進級展を題材にタイムテーブル・企画書を作成する
25	／	実習	組織としてのイベント企画を行う3	卒業進級展を題材にタイムテーブル・企画書を作成する
26	／	実習	組織としてのイベント企画を行う4	卒業進級展を題材に出演者とのミーティングを行う
27	／	実習	組織としてのイベント制作を行う1	卒業進級展を題材に出演者とのミーティングを行う
28	／	実習	組織としてのイベント制作を行う2	卒業進級展を題材にリハーサル計画・プロモーションプランを完成する
29	／	実習	組織としてのイベント制作を行う3	卒業進級展を題材にリハーサル運営とプロモーションを行う
30	／	試験	イベント本番	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	音楽史	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	及川有正
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	年間 曜日・時限 火曜5限
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科						
教員の略歴	1981年よりプロモーターとしてジャパンレコード、ホットスタッフ・プロモーションにてビテカートVなどのアーティストを手掛ける。						
授業の学習内容	職業として音楽と関わっていくための基礎知識を学び、これまでどのようにして音楽が伝わり、楽しまれてきたのかを理解する。またその背景にある社会や政治の変化、録音技術や楽器の変化を知り、次の時代の音楽を創作していくための想像力を養う。						
到達目標	自分のお気に入りの音楽に耳を傾けるばかりではなく、様々な時代、ジャンルの音楽を知ることによって視野を広げる。音の表現方法について、アイデアによって達成出来る世界が広がり、新たな音楽を創造する。						
評価方法及び基準	授業内評価40% 定期試験 30% レポート提出 30% ポップスの歴史の概略を説明することができる。楽曲を聴いて、時代やルーツを説明することが出来る。みずから進んで楽曲の構造や文化的意味について探求心を持つことができる。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	プロテストソングとして歌われたヘイズジュードについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
2	/	講義	「You Raise Me Up」「Londonerry Air」「Danny Boy」を中心にそれぞれの音楽に物語や歴史があることを知る。	感想文、関連する楽曲を探す
3	/	講義	「朝日のおたる家」の伝承/口承からフォーク、ロックへの変化について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
4	/	講義	フレンチポップスの影響について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
5	/	講義	ロック音楽の出発点としてのロックンロールの背景について説明を行い、特にリズム&ブルース(R&B)という音楽について学ぶ。	感想文、関連する楽曲を探す
6	/	講義	ソウルの誕生について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
7	/	講義	ギターインストルメンタル/日本のエレキブームについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
8	/	講義	スキップルとビートルズ誕生について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
9	/	講義	ビートルズの来道とブリティッシュインヴェイジョンについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
10	/	講義	ブリティッシュインヴェイジョンについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
11	/	講義	フォークとフォークロックについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
12	/	講義	R&Rの死とサーフミュージック、ロックンロール英国上陸について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
13	/	講義	ビートルズ上陸以前の日本のポップスについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
14	/	講義	ビートルズとブリティッシュビートについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
15	/	試験		
16	/	講義	ベンチャーズとビートルズの日本上陸について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
17	/	講義	フォークソングとビートルズのアメリカ上陸について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
18	/	講義	モータウン、アトランティックを中心に1960年代に開花したソウル・ミュージック・シーンについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
19	/	講義	ウッドストックを中心に1960年代後半のアメリカを知る。	感想文、関連する楽曲を探す
20	/	講義	カレッジから発達したフォークと反抗の証としてのフォークについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
21	/	講義	ビートルズ、サイモン&ガーファングルの解散、ジミ・ヘンドリックス、ジャニス・ジョプリン死亡以降の欧米のロックについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
22	/	講義	プログレッシブ・ロック 70年代の作品を中心に他ジャンルをクロスオーバーさせた音楽手法について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
23	/	講義	日本のロック誕生(1)輸入音楽であったロックを日本独自の解釈で創作した初期作品について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
24	/	講義	日本のロック誕生(2)日本語ロック論争について考え、誕生した日本語ロックのノウハウが現代にもたらした影響について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
25	/	講義	ファンクとソウルのディスコ化、その波が白人音楽へもたらした影響について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
26	/	講義	アダルト指向を強めた時代背景とジャズ界とコラボレートを開始したロックの時代背景について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
27	/	講義	グラムの特徴となった、男性的化粧、両性具有的イメージ、虚構性、耽美性などの広がりについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
28	/	講義	テクノポップの誕生電子楽器の変化を中心にプログレからテクノへの変化について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
29	/	講義	ヒップホップが生まれた社会背景、現代のR&B、ゴスペルなど黒人音楽までの変化について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
30	/	試験		
準備学習 時間外学習			授業内で取り上げた楽曲、アーティストに関連するものを探る	
【使用教科書・教材・参考書】 ロック&ポップス史 洋楽編、邦楽編、CD、DVD				

科目名	コンポジション	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中村 結花
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	水曜1限
教員の略歴	専門学校卒業後、アーティストへの楽曲提供や各種企業CM音楽などの制作を行う						
授業の学習 内容	Cubase pro11を用いて、DTMの基礎知識から操作方法、打ち込みスキルの習得						
到達目標	基本的なCubase pro11の使い方をマスターし、打ち込みから簡単なミックスまでできるようになる						
評価方法と基準	授業内評価50%、授業態度及び総合的な理解度50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	DTMとは、DAWとは何か	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
2		演習	基本的なショートカットを覚える	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
3		演習	ドラムやベースの打ち込み	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
4		演習	基本的なCCについて学ぶ	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
5		演習	Loopブラウザの活用	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
6		演習	オーディオの様々な編集	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
7		演習	各種トラックの活用方法	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
8		演習	レコーディング(モノラル・ステレオ、定位について)	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
9		演習	AudioWarpの使い方	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
10		演習	デジタルの概念について	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
11		演習	ミックスダウンとは	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
12		演習	エフェクトプラグインについて	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
13		演習	楽曲制作①	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
14		演習	楽曲制作②	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
15		演習	楽曲制作③	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
16		演習	作曲と編曲の違いについて	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
17		演習	スケールとキーについて	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
18		演習	ダイアトニックコードとノンダイアトニックコード	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
19		演習	代理コード	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
20		演習	メロディ作成について①	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
21		演習	メロディ作成について②	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
22		演習	オリジナル楽曲の制作①	オリジナル楽曲制作に向けてイメージ案まとめ
23		演習	オリジナル楽曲の制作②	オリジナル楽曲制作に向けてイメージ案まとめ
24		演習	オリジナル楽曲の制作③	オリジナル楽曲制作に向けてイメージ案まとめ
25		演習	オリジナル楽曲の制作④	オリジナル楽曲制作に向けてイメージ案まとめ
26		演習	オリジナル楽曲の制作⑤	オリジナル楽曲制作に向けてイメージ案まとめ
27		演習	オリジナル楽曲の制作⑥	オリジナル楽曲制作に向けてイメージ案まとめ
28		演習	オリジナル楽曲の制作⑦	オリジナル楽曲制作に向けてイメージ案まとめ
29		演習	オリジナル楽曲の制作⑧	オリジナル楽曲制作に向けてイメージ案まとめ
30		演習	視聴会	視聴データの整理
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンポジション	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中村 結花
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時間	金曜2限
教員の略歴	専門学校卒業後、アーティストへの楽曲提供や各種企業CM音楽などの制作を行う						
授業の学習内容	コンピューターを使用し、MIDIデータおよびAudioデータの作成のノウハウを習得する。						
到達目標	Cubaseを使いMIDIおよびAudioデータを作成できるようになる。 制作する作品が業界基準のアレンジ、音質に仕上げられるレベルを目指す。						
評価方法と基準	授業内評価40% 定期試験 30% データ提出 30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義・実習	外部・内部・機材の説明	説明内容の理解・復習
2	/	講義・実習	MIDIデータの作成	ストリングスのプログラミング
3	/	講義・実習	MIDIデータの作成	オルガンのプログラミング
4	/	講義・実習	MIDIデータの作成	プラスのプログラミング
5	/	講義・実習	MIDIデータの作成	パーカッションのプログラミング
6	/	講義・実習	MIDIデータ・Audioデータの作成	EDM①
7	/	講義・実習	MIDIデータ・Audioデータの作成	EDM②
8	/	講義・実習	MIDIデータ・Audioデータの作成	JAZZ①
9	/	講義・実習	MIDIデータ・Audioデータの作成	JAZZ②
10	/	講義・実習	MIDIデータ・Audioデータの作成	JAZZ③
11	/	講義・実習	ワークショップ・課題を提示	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
12	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成①	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
13	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成②	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
14	/	講義・実習	ワークショップ・課題提出	MIDIワークエディタを使用し楽曲制作にDTPシステムを積極的に活用できる技術習得する。
15	/	試験		
16	/	講義・実習	ワークショップ・課題を提示	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
17	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成①	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
18	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成②	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
19	/	講義・実習	ワークショップ・課題提出	MIDIワークエディタを使用し楽曲制作にDTPシステムを積極的に活用できる技術習得する。
20	/	講義・実習	ワークショップ・課題を提示	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
21	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成①	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
22	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成②	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
23	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成③	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
24	/	講義・実習	ワークショップ・課題提出	MIDIワークエディタを使用し楽曲制作にDTPシステムを積極的に活用できる技術習得する。
25	/	講義・実習	ワークショップ・課題を提示	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
26	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成①	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
27	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成②	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
28	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成③	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
29	/	講義・実習	ワークショップ・課題提出	MIDIワークエディタを使用し楽曲制作にDTPシステムを積極的に活用できる技術習得する。
30	/	試験		
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンポジション	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	中村 結花
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	金曜3限
教員の略歴	専門学校卒業後、アーティストへの楽曲提供や各種企業CM音楽などの制作を行う						
授業の学習内容	コンピューターを使用し、MIDIデータおよびAudioデータの作成のノウハウを習得する。						
到達目標	Cubaseを使いMIDIおよびAudioデータを作成できるようになる。 制作する作品が業界基準のアレンジ、音質に仕上げられるレベルを目指す。						
評価方法と基準	授業内評価40% 定期試験 30% データ提出 30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義・実習	外部・内部・機材の説明	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
2	/	講義・実習	MIDIデータの作成	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
3	/	講義・実習	MIDIデータの作成	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
4	/	講義・実習	MIDIデータの作成	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
5	/	講義・実習	MIDIデータの作成	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
6	/	講義・実習	MIDIデータ・Audioデータの作成	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
7	/	講義・実習	MIDIデータ・Audioデータの作成	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
8	/	講義・実習	MIDIデータ・Audioデータの作成	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
9	/	講義・実習	MIDIデータ・Audioデータの作成	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
10	/	講義・実習	MIDIデータ・Audioデータの作成	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
11	/	講義・実習	ワークショップ・課題を提示	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
12	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成①	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
13	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成②	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
14	/	講義・実習	ワークショップ・課題提出	MIDIシークエンスソフトを使用し楽曲制作にDTMシステムを積極的に活用できる技術を習得する。
15	/	試験		
16	/	講義・実習	ワークショップ・課題を提示	オリジナル楽曲制作に向けてイメージを固めておく
17	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成①	オリジナル楽曲制作に向けてイメージを固めておく
18	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成②	オリジナル楽曲制作に向けてイメージを固めておく
19	/	講義・実習	ワークショップ・課題提出	オリジナル楽曲制作のスケジュール管理、自主的に進めておくこと
20	/	講義・実習	ワークショップ・課題を提示	オリジナル楽曲制作のスケジュール管理、自主的に進めておくこと
21	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成①	オリジナル楽曲制作のスケジュール管理、自主的に進めておくこと
22	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成②	オリジナル楽曲制作のスケジュール管理、自主的に進めておくこと
23	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成③	オリジナル楽曲制作のスケジュール管理、自主的に進めておくこと
24	/	講義・実習	ワークショップ・課題提出	オリジナル楽曲制作のスケジュール管理、自主的に進めておくこと
25	/	講義・実習	ワークショップ・課題を提示	オリジナル楽曲制作のスケジュール管理、自主的に進めておくこと
26	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成①	オリジナル楽曲制作のスケジュール管理、自主的に進めておくこと
27	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成②	オリジナル楽曲制作のスケジュール管理、自主的に進めておくこと
28	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成③	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
29	/	講義・実習	ワークショップ・課題提出	MIDIシークエンスソフトを使用し楽曲制作にDTMシステムを積極的に活用できる技術を習得する。
30	/	試験		
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンポジションプロジェクト	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	板橋 香明
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	180 12	開講区分 曜日・時間	水曜 2・3・4限
教員の略歴	専門学校卒業後、アニメ・劇伴楽曲の制作を担当						
授業の学習 内容	作曲(主にアレンジ)を進める上で、同時にミックスの観点からもアプローチする力を養う 自己プロデュース能力を向上させオールインワンでの完結できる実力をつける						
到達目標	ゼロから完バケ(作曲から納品、又はリリース)までの工程を、個人・グループで完結させる						
評価方法と基準	授業態度(積極性、制作能力) 課題提出率						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	楽曲制作時に意識すること	楽典予習
2		演習	メロディへのコード付①	楽典予習
3		演習	メロディへのコード付②	楽典予習
4		演習	裏メロの作り方	楽典予習
5		演習	コーラスワーク・ハモリ・ミックス①	楽典予習
6		演習	コーラスワーク・ハモリ・ミックス②	楽典予習
7		演習	ピアノアレンジ・ミックス①	楽典予習
8		演習	ピアノアレンジ・ミックス②	楽典予習
9		演習	リズムアレンジ・ミックス①	楽典予習
10		演習	リズムアレンジ・ミックス②	楽典予習
11		演習	ベースアレンジ・ミックス①	楽典予習
12		演習	ベースアレンジ・ミックス②	楽典予習
13		演習	楽曲制作ワークショップ①	楽典予習
14		演習	楽曲制作ワークショップ②	楽典予習
15		演習	楽曲制作ワークショップ③	楽典予習
16		演習	ギターアレンジ・ミックス①	楽典予習
17		演習	ギターアレンジ・ミックス②	楽典予習
18		演習	ギターアレンジ・ミックス③	楽典予習
19		演習	Fx・サンプル活用法・ミックス法	楽典予習
20		演習	シンセサイザーアレンジ・ミックス①□	楽典予習
21		演習	シンセサイザーアレンジ・ミックス②□	楽典予習
22		演習	シンセサイザーアレンジ・ミックス③□	楽典予習
23		演習	ストリングスアレンジ・ミックス①	楽典予習
24		演習	ストリングスアレンジ・ミックス②	楽典予習
25		演習	ストリングスアレンジ・ミックス③	楽典予習
26		演習	ストリングスアレンジ・ミックス④	楽典予習
27		演習	イントロの作り方・トータルのミックス	楽典予習
28		演習	イントロの作り方・トータルのミックス	楽典予習
29		演習	イントロの作り方・トータルのミックス	楽典予習
30		演習	イントロの作り方・トータルのミックス	楽典予習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンポジションプロジェクト	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	板橋 香明
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	180 12	開講区分 曜日・時限	火曜 2・3・4限
教員の略歴	専門学校卒業後、アニメ・劇伴楽曲の制作を担当						
授業の学習内容	コンピューターを使用し、MIDIデータおよびAudioデータの作成のノウハウを習得する。						
到達目標	Cubaseを使いMIDIおよびAudioデータを作成できるようになる。 卒業制作として年間を通して各自が40分以上のCDアルバムを制作し、卒業進級展にてプレゼンテーションを行う。						
評価方法と基準	授業内評価40% 定期試験 30% データ提出 30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義・実習	外部・内部・機材の説明	説明内容の理解・復習
2	/	講義・実習	MIDIデータの作成	オーケストラのプログラミング①
3	/	講義・実習	MIDIデータの作成	オーケストラのプログラミング②
4	/	講義・実習	MIDIデータの作成	オーケストラのプログラミング③
5	/	講義・実習	MIDIデータの作成	オーケストラのプログラミング④
6	/	講義・実習	MIDIデータ・Audioデータの作成	オリジナル作品制作①
7	/	講義・実習	MIDIデータ・Audioデータの作成	オリジナル作品制作②
8	/	講義・実習	MIDIデータ・Audioデータの作成	オリジナル作品制作③
9	/	講義・実習	MIDIデータ・Audioデータの作成	オリジナル作品制作④
10	/	講義・実習	MIDIデータ・Audioデータの作成	オリジナル作品制作⑤
11	/	講義・実習	ワークショップ・課題を提示	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
12	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成①	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
13	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成②	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
14	/	講義・実習	ワークショップ・課題提出	MIDIソフトウェアを使用し楽曲制作にOTMシステムを積極的に活用できる技術を習得する。
15	/	試験		
16	/	講義・実習	ワークショップ・課題を提示	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
17	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成①	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
18	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成②	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
19	/	講義・実習	ワークショップ・課題提出	MIDIソフトウェアを使用し楽曲制作にOTMシステムを積極的に活用できる技術を習得する。
20	/	講義・実習	ワークショップ・課題を提示	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
21	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成①	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
22	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成②	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
23	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成③	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
24	/	講義・実習	ワークショップ・課題提出	MIDIソフトウェアを使用し楽曲制作にOTMシステムを積極的に活用できる技術を習得する。
25	/	講義・実習	ワークショップ・課題を提示	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
26	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成①	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
27	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成②	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
28	/	講義・実習	ワークショップ・課題作成③	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
29	/	講義・実習	ワークショップ・課題提出	MIDIソフトウェアを使用し楽曲制作にOTMシステムを積極的に活用できる技術を習得する。
30		試験		
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音楽制作理論	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	深井 誠
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	金曜 3限
教員の略歴	アーティストへの楽曲提供の他・CM・劇伴の楽曲アレンジを担当						
授業の学習 内容	音楽の仕事に関する理解や音楽制作に必要な知識などを網羅的に勉強しプロとして活躍できる人材になってほしい。プリプロダクションゼミで必要な知識の座学的位置付け						
到達目標	事務的な作業を含む実際仕事で必要な知識を知ることによって学生からスムーズにプロフェッショナルな人材になることができるようになる。						
評価方法と基準	■試験: 80 % ■授業内評価: 20 %						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	授業概要、構成、枠組み、内容、目的、ルールの理解	音響機器マニュアルの指定ページの予習
2		演習	DTMソフトを理解する・フリーのソフト	音響機器マニュアルの指定ページの予習
3		演習	DTM周りの機材とケーブルの理解/デジタルの理解	音響機器マニュアルの指定ページの予習
4		演習	作曲のアイデアの出し方をわかる	音響機器マニュアルの指定ページの予習
5		演習	編曲の訓練方法がわかる	音響機器マニュアルの指定ページの予習
6		演習	ミックスの環境の整え方がわかる	音響機器マニュアルの指定ページの予習
7		演習	具体的なルーティングや準備、心構えを知る	音響機器マニュアルの指定ページの予習
8		演習	学校に入ってるソフトの紹介を知る	音響機器マニュアルの指定ページの予習
9		演習	Spectrasonicsの使い方がわかる	音響機器マニュアルの指定ページの予習
10		演習	ドラムの打ち込み(BatteryとEZDrummer)がわかる	音響機器マニュアルの指定ページの予習
11		演習	ドラムの打ち込み(BatteryとEZDrummer)がわかる	音響機器マニュアルの指定ページの予習
12		演習	ストリングスの打ち込み方Viennaの使い方がわかる	音響機器マニュアルの指定ページの予習
13		演習	ストリングスの打ち込み方Viennaの使い方がわかる	音響機器マニュアルの指定ページの予習
14		演習	Vocal録音・ディレクション・Pitch補正とAutotuneの使い方がわかる	音響機器マニュアルの指定ページの予習
15		演習	Vocal録音・ディレクション・Pitch補正とAutotuneの使い方がわかる	音響機器マニュアルの指定ページの予習
16		演習	作曲家の仕事が理解できる	音響機器マニュアルの指定ページの予習
17		演習	アーティストの仕事の話が理解できる	音響機器マニュアルの指定ページの予習
18		演習	アレンジャーの仕事の話が理解できる	音響機器マニュアルの指定ページの予習
19		演習	エンジニアの仕事の話が理解できる	音響機器マニュアルの指定ページの予習
20		演習	Youtubeで動画を作る方法がわかる	音響機器マニュアルの指定ページの予習
21		演習	SNSでチャンネル登録を増やす方法がわかる	音響機器マニュアルの指定ページの予習
22		演習	リテイク・キープについて理解できる	音響機器マニュアルの指定ページの予習
23		演習	エフェクト(EQ,Comp)が理解できる	音響機器マニュアルの指定ページの予習
24		演習	エフェクト(空間系)が理解できる	音響機器マニュアルの指定ページの予習
25		演習	マルチバンド、サブハーモニクスが理解できる	音響機器マニュアルの指定ページの予習
26		演習	マルチバンド、サブハーモニクスが理解できる	音響機器マニュアルの指定ページの予習
27		演習	自分をプレゼンする方法・契約書の話	音響機器マニュアルの指定ページの予習
28		演習	自分をプレゼンする方法・契約書の話	音響機器マニュアルの指定ページの予習
29		演習	確定申告の話	音響機器マニュアルの指定ページの予習
30		演習	確定申告の話	音響機器マニュアルの指定ページの予習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音楽制作	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	深井 誠
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	金曜 4限
教員の略歴	アーティストへの楽曲提供の他・CM・劇伴の楽曲アレンジを担当						
授業の学習内容	スタジオ内の各種機材を使用しコンピューターを使用した録音作業を実践し学習する。						
到達目標	一般的な録音作業を理解し実践出来るようになる。						
評価方法と基準	実技60%・授業内評価40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	実習	ProToolsの初期設定を理解する。	各種音質設定をサンプルを参考に比較する。
2	/	実習	ProToolsの各種トラックを理解する。	オーディオ、MIDI、ビデオトラックなどを複合したセッションを作成してみる。
3	/	実習	タイムコードとクロックを理解する。	MIDI機器を複数台リンクして同期を試してみる。
4	/	実習	ステレオマイクセッティングを理解する。	ステレオマイクを設置して録音し、モノラルとの違いを比較する。
5	/	実習	実践的なEQの使い方を考える。	ドラムの録音にイコライザーを使用してみる。
6	/	実習	実践的なコンプレッサーの使い方を考える。	ドラムの録音にコンプレッサーを使用してみる。
7	/	実習	実践的なディレイの使い方を考える。	ヴォーカルの録音にディレイを使用してみる。
8	/	実習	実践的なリバーブの使い方を考える。	ヴォーカルの録音にリバーブを使用してみる。
9	/	実習	HAの使い方を考える。	ミキサー内蔵のマイクプリアンプや外付けタイプの機種など特徴を覚える。
10	/	実習	トランスの役割を理解する。	スタジオ内の電源口の電圧の違いと、115Vの用途を把握する。
11	/	実習	DI とリアンプ を理解する。	リアンプ時の出力レベル範囲を把握し、実際に音を録音して試聴する。
12	/	実習	これまでの理解を確かめ再確認する。	
13	/	実習	実音とデジタルのレーテンシーを考察する。	アナログとデジタルの遅延を軽減させる手法とアンブレック・パワーのバランスを各機で試してみる。
14	/	実習	デジタルとアナログの接続ケーブルを学ぶ。	アナログ接続ケーブルのメーカー、グレード、長さなど複数試して違いを確かめる。
15	/	実習	ワークショップ: 録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
16	/	実習	ワークショップ: 録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
17	/	実習	ProTools のデジタル接続を理解する。	PC、インターフェース、ミキサーの間でデジタル使用による音質の違いを確かめる。
18	/	実習	マルチコンプレッサーを理解する。	プラグインを利用して帯域ごとにGAINを調節して音色を確認する。
19	/	実習	アナログレコーダーを理解する。	アナログの音質の長所、短所とテープを扱う上での注意点を把握する。
20	/	実習	ワークショップ: 録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
21	/	実習	ワークショップ: 録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
22	/	実習	ProTools のバウンスを理解する。	仕事内容、目的に応じて作成するファイル形式が異なる事を復習し、把握する。
23	/	実習	M-Sマトリックスを学ぶ。	ステレオ信号を、Mid成分(L+R)とSide成分(L-R/R-L)の3チャンネルに分けてMIXしてみる。
24	/	実習	マスタリングについて理解する。	サンプルセッションを使用してマスタリングを完成させる。
25	/	実習	ワークショップ: 録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
26	/	実習	ワークショップ: 録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
27	/	実習	PCM録音と1Bit録音について理解する。	1bit録音で作成された音源を視聴し、音質を確かめる。
28	/	実習	ワークショップ: 録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
29	/	実習	ワークショップ: 録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
30	/	試験	一年間の理解を確かめ再確認する。	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音楽制作理論	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	深井 誠
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	金曜 4限
教員の略歴	アーティストへの楽曲提供の他・CM・劇伴の楽曲アレンジを担当						
授業の学習内容	スタジオ内の各種機材を使用しコンピューターを使用した録音作業を実践し学習する。						
到達目標	一般的な録音作業を理解し実践出来るようになる。						
評価方法と基準	実技60%・授業内評価40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	実習	ProToolsの初期設定を理解する。	各種音質設定をサンプルを参考に比較する。
2	/	実習	ProToolsの各種トラックを理解する。	オーディオ、MIDI、ビデオトラックなどを複合したセッションを作成してみる。
3	/	実習	タイムコードとクロックを理解する。	MIDI機器を複数台リンクして同期を試してみる。
4	/	実習	ステレオマイクセッティングを理解する。	ステレオマイクを設置して録音し、モノラルとの違いを比較する。
5	/	実習	実践的なEQの使い方を考える。	ドラムの録音にイコライザーを使用してみる。
6	/	実習	実践的なコンプレッサーの使い方を考える。	ドラムの録音にコンプレッサーを使用してみる。
7	/	実習	実践的なディレイの使い方を考える。	ヴォーカルの録音にディレイを使用してみる。
8	/	実習	実践的なリバーブの使い方を考える。	ヴォーカルの録音にリバーブを使用してみる。
9	/	実習	HAの使い方を考える。	ミキサー内蔵のマイクプリアンプや外付けタイプの機種など特徴を覚える。
10	/	実習	トランスの役割を理解する。	スタジオ内の電源口の電圧の違いと、115Vの用途を把握する。
11	/	実習	DI とリアンプ を理解する。	リアンプ時の出力レベル範囲を把握し、実際に音を録音して試聴する。
12	/	実習	これまでの理解を確かめ再確認する。	
13	/	実習	実音とデジタルのレーテンシーを考察する。	アナログ録音と軽減できる手法とリアンプベック・パワーのバランスを各機で試してみる。
14	/	実習	デジタルとアナログの接続ケーブルを学ぶ。	アナログ接続ケーブルのメーカー、グレード、長さなど複数試して違いを確かめる。
15	/	実習	ワークショップ: 録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
16	/	実習	ワークショップ: 録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
17	/	実習	ProTools のデジタル接続を理解する。	PC、インターフェース、ミキサーの間でデジタル使用による音質の違いを確かめる。
18	/	実習	マルチコンプレッサーを理解する。	プラグインを利用して帯域ごとにGAINを調節して音色を確認する。
19	/	実習	アナログレコーダーを理解する。	アナログの音質の長所、短所とテープを扱う上での注意点を把握する。
20	/	実習	ワークショップ: 録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
21	/	実習	ワークショップ: 録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
22	/	実習	ProTools のバウンスを理解する。	仕事内容、目的の応じて作成するファイル形式が異なる事を復習し、把握する。
23	/	実習	M-Sマトリックスを学ぶ。	ステレオ信号を、Mid成分(L+R)とSide成分(L-R/R-L)の3チャンネルに分けてMIXしてみる。
24	/	実習	マスタリングについて理解する。	サンプルセッションを使用してマスタリングを完成させる。
25	/	実習	ワークショップ: 録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
26	/	実習	ワークショップ: 録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
27	/	実習	PCM録音と1Bit録音について理解する。	1bit録音で作成された音源を視聴し、音質を確かめる。
28	/	実習	ワークショップ: 録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
29	/	実習	ワークショップ: 録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
30	/	試験	一年間の理解を確かめ再確認する。	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ステージ/イベント	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤晃彦
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分 曜日・時間	金1・2限
教員の略歴	1978年より音響やローディーなどの仕事に関わり、舞台監督としてREBECCA、THE BOOM、Char、中森明菜等のコンサートを作成する						
授業の学習 内容	コンサート現場での専門用語、しきたり、ルールなどを学び、即戦力として通用する知識を養う。						
到達目標	コンサート運営に必要な段取りを知り、タイムテーブル、舞台図面の内容を把握出来るようにする。						
評価方法と基準	定期試験 70%、授業内評価 30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	授業の概要と進捗を解説する	授業及び実習に必要な準備物を確認する
2		演習	音楽業界で働く人の意識について学ぶ	事例・歴史を参考に日本の音楽業界の変遷について考える
3		演習	コンサートをつくるための様々な仕事を学ぶ	授業で学んだ職種を復習し、自分の興味のある仕事を見出す
4		演習	コンサートスタッフの一日を学ぶ	本番の現場をはじめ、準備段階での業務などを復習する
5		演習	コンサート会場の種類を学ぶ	授業で学んだ会場を復習し、身近にある開場を見つけてみる
6		演習	コンサート制作で作成される書類を学ぶ	参考書類を参考にテンプレートを作成する
7		演習	舞台平面図を理解する①	縮尺や用語を復習し、覚える
8		演習	舞台平面図を理解する②	バトンや幕の役割を覚える
9		演習	野外コンサートの平面図を学ぶ	仮説ステージの基本的なつくりを理解する
10		演習	タイムテーブルを理解する	タイムテーブルを参考に各業種の仕事の流れを復習する
11		演習	舞台平面図とタイムテーブルを関連づける	時間ごとにシーンが変わるという概念を理解し、転換の時間配分を考える
12		演習	タイムテーブルの作成を学ぶ	全数を参考に1日完結のイベントをシミュレーションしてみる
13		演習	タイムテーブルの作成を学ぶ	全数を参考に1日完結のイベントをシミュレーションしてみる
14		演習	タイムテーブルの作成を学ぶ	全数を参考に1日完結のイベントをシミュレーションしてみる
15		演習	筆記試験による理解度テスト	資料確認
16		演習	イベント参加者のチョイスの基準を学ぶ①	アーティスト、料金、会場、演出、グッズなど実例を参考に復習する
17		演習	イベント参加者のチョイスの基準を学ぶ②	アーティスト、料金、会場、演出、グッズなど実例を参考に復習する
18		演習	イベント実施にあたっての準備を学ぶ	前週までを参考に集客の基本を考える
19		演習	イベント実施までの制作作業について学ぶ	演者、会場、プロモーションなど全ての要素について考える
20		演習	イベント運営時の作業について学ぶ	制作というセクションについて必要な要素を考える
21		演習	イベント企画について学ぶ①	企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする
22		演習	イベント企画について学ぶ②	企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする
23		演習	イベント企画について学ぶ③	企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする
24		演習	日常のトレーニングについて①	スキルを身に着けるための考え方と具体的な方法について考える
25		演習	日常のトレーニングについて②	スキルを身に着けるための考え方と具体的な方法について考える
26		演習	日常のトレーニングについて③	スキルを身に着けるための考え方と具体的な方法について考える
27		演習	舞台機構演習①	タイムテーブル・平面図を理解する
28		演習	舞台機構演習②	タイムテーブル・平面図を理解する
29		演習	舞台機構演習③	タイムテーブル・平面図を理解する
30		演習	筆記試験による理解度テスト	資料確認
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ステージ/イベント	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	佐藤晃彦
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分 曜日・時間	金5.6限
教員の略歴	1978年より音響やローディーなどの仕事に関わり、舞台監督としてREBECCA、THE BOOM、Char、中森明菜等のコンサート制作する						
授業の学習 内容	コンサート現場での専門用語、しきたり、ルールなどを学び、即戦力として通用する知識を養う。						
到達目標	コンサート運営に必要な段取りを知り、タイムテーブル、舞台図面の内容を把握出来るようにする。						
評価方法及び基準	定期試験 70%、授業内評価 30%						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		演習	オリエンテーション①「自己紹介」セルフプロモーション実習。自己紹介を通して、アーティストやイベントプロモーションの考え方とコミュニケーションを学ぶ				
2		演習	オリエンテーション②「インタビュー実習 & 他者紹介」ペアまたはグループを組み、相手を「取材」し紹介する。学生同士のコミュニケーション醸成と、PRの基本である情報収集のコツと人前でのプレゼン				
3		演習	主に宮城県内におけるコンサートやライブを含む様々なイベントの実地例や関わる職種、業種を知る。自分がどのように携わってみたいかをイメージして企画制作「運営」を学ぶ				
4		演習	コンサートやライブを含む様々なイベントの企画制作に関わるための必要スキルを学ぶ① 音楽業界と各メディアの関わり、プロモーションの種類など				
5		演習	コンサートやライブを含む様々なイベントの企画制作に関わるための必要スキルを学ぶ②具体的なプランニングメソッドとプロモーション計画の作り方				
6		演習	コンサートやライブを含む様々なイベントの企画制作とプロモーション計画立案に必要なスキルを学ぶ③プレスト、ディスカッション実習				
7		演習	コンサートやライブを含む様々なイベントの企画制作とプロモーション計画立案に必要なスキルを学ぶ④インタビュー、ヒアリング実習				
8		演習	実際のコンサートや音楽イベントを題材に、企画制作案をグループごとにまとめ、発表するデモプレゼンを行う。①※共通テーマを与え、グループごとに発表。企画評価のディスカッションも行う。			バトンや幕の役割を覚える	
9		演習	実際のコンサートや音楽イベントを題材に、企画制作案をグループごとにまとめ、発表するデモプレゼンを行う。②※共通テーマを与え、グループごとに発表。企画評価のディスカッションも行う。			仮説ステージの基本的なつくりを理解する	
10		演習	実際のコンサートや音楽イベントを題材に、企画制作案をグループごとにまとめ、発表するデモプレゼンを行う。③※共通テーマを与え、グループごとに発表。企画評価のディスカッションも行う。			タイムテーブルを参考に各業種の仕事の流れを復習する	
11		演習	★HOMなど学校催事運動講義、実習①			時間ごとにシーンが変わるという概念を理解し、転換の時間配分を考える	
12		演習	★HOMなど学校催事運動講義、実習②			全数を参考に1日完結のイベントをシミュレーションしてみる	
13		演習	タイムテーブルの作成を学ぶ			全数を参考に1日完結のイベントをシミュレーションしてみる	
14		演習	タイムテーブルの作成を学ぶ			全数を参考に1日完結のイベントをシミュレーションしてみる	
15		演習	筆記試験による理解度テスト			資料確認	
16		演習	イベント参加者のチョイスの基準を学ぶ①			アーティスト、料金、会場、演出、グッズなど実例を参考に復習する	
17		演習	イベント参加者のチョイスの基準を学ぶ②			アーティスト、料金、会場、演出、グッズなど実例を参考に復習する	
18		演習	イベント実施にあたっての準備を学ぶ			前週までを参考に集客の基本を考える	
19		演習	イベント実施までの制作作業について学ぶ			演者、会場、プロモーションなど全ての要素について考える	
20		演習	イベント運営時の作業について学ぶ			制作というセクションについて必要な要素を考える	
21		演習	イベント企画について学ぶ①			企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする	
22		演習	イベント企画について学ぶ②			企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする	
23		演習	イベント企画について学ぶ③			企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする	
24		演習	日常のトレーニングについて①			スキルを身に着けるための考え方と具体的な方法について考える	
25		演習	日常のトレーニングについて②			スキルを身に着けるための考え方と具体的な方法について考える	
26		演習	日常のトレーニングについて③			スキルを身に着けるための考え方と具体的な方法について考える	
27		演習	舞台機構演習①			タイムテーブル・平面図を理解する	
28		演習	舞台機構演習②			タイムテーブル・平面図を理解する	
29		演習	舞台機構演習③			タイムテーブル・平面図を理解する	
30		演習	筆記試験による理解度テスト			資料確認	
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	ステージ/イベントプロジェクト	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	唐澤 淳
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	180 12	開講区分 曜日・時限	木曜 2・3・4限
教員の略歴	1992年よりフリーランスローディーとして活動し、現在は起業してアーティスト及びクリエイターの育成やマネジメントなどを手掛ける						
授業の学習 内容	Excelを中心に基本的な使い方から、現場で役立つ応用まで1年かけて身につけていく。 Microsoftの検定を取れるようにするのではなく、あくまでも業界でよく使われたり役立つ部分に特化して即戦力を目指してスキルを身に付けます。 現在の就職におけるパソコンスキルは必須となっており、またその求められるレベルは年々上がってきています。 テクノロジーの進化と最新のソフトウェアにも対応が求められるため、習得すべきスキルは多いのですが、エンタメ業界で働く上で最低限のスキルを効率よく習得できるように授業は進めていきます。						
到達目標	以下が達成出来るようになることを目標としている。 (1) Excelの基本的な使い方(表のデザイン、計算式)を身につける。 (2) PowerPointの基本的な使い方を身につけてプレゼンテーションスキルを上げる。 (3) Wordの基本的な使い方を身につける。 (4) Adobe Illustrator及びPhotoshopの基本的な使い方 (5) DTPの基本的な解釈と留意点 (6) デザイン的な創作の解釈と留意点						
評価方法と基準	1. 実技試験(%) : 50% 2. 筆記試験(%) : 0% 3. 課題(%) : 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	リテラシー①	テキスト事前予習
2		演習	リテラシー②	テキスト事前予習
3		演習	【Excel】表の作り方/タイムテーブル横軸	残作業
4		演習	【Excel】表の作り方/タイムテーブル横軸	残作業
5		演習	【Excel】表の作り方/タイムテーブル横軸	残作業
6		演習	【Excel】表の作り方/タイムテーブル横軸	残作業
7		演習	【Excel】表と計算式/動員集計表	残作業
8		演習	【Excel】表と計算式/動員集計表	残作業
9		演習	【Excel】表と計算式/動員集計表	残作業
10		演習	【Excel】表と計算式/動員集計表	残作業
11		演習	【Excel】図形描画/イベントシートとステージ簡易図面	残作業
12		演習	【Excel】図形描画/イベントシートとステージ簡易図面	残作業
13		演習	【Excel】図形描画/イベントシートとステージ簡易図面	残作業
14		演習	【AI】名刺作成	デザイン案考案
15		演習	【AI】名刺作成	デザイン案考案
16		演習	【Excel】作業工程表	作業工程案作成
17		演習	【P】画像解像度	テキスト予習
18		演習	【P】写真の修正加工	テキスト予習
19		演習	【PP】スライドマスタとスライド	テキスト予習
20		演習	【Office各種】自己PR資料作成	テキスト予習
21		演習	【Office各種】自己PR資料作成	テキスト予習
22		演習	【Excel】香盤表	テキスト予習
23		演習	【PP】挿入出来る種類の図と挿入方法	テキスト予習
24		演習	【PP】プレゼンテーション資料の作成	テキスト予習
25		演習	【PP】プレゼン発表	テキスト予習
26		演習	【Excel】ツアー集計表	テキスト予習
27		演習	サンプルを元に資料作成	事前資料確認
28		演習	サンプルを元に資料作成	事前資料確認
29		演習	サンプルを元に資料作成	事前資料確認
30		演習	サンプルを元に資料作成	事前資料確認
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ステージ/イベントプロジェクト	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	唐澤 淳
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	180 12	開講区分 曜日・時限	金曜 1・2・3限
教員の略歴	1992年よりフリーランスローディーとして活動し、現在は起業してアーティスト及びクリエイターの育成やマネジメントなどを手掛ける						
授業の学習 内容	Excelを中心に基本的な使い方から、現場で役立つ応用まで1年かけて身につけていく。 Microsoftの検定を取れるようにするのではなく、あくまでも業界でよく使われたり役立つ部分に特化して即戦力を目指してスキルを身に付けます。 現在の就職におけるパソコンスキルは必須となっており、またその求められるレベルは年々上がってきています。 テクノロジーの進化と最新のソフトウェアにも対応が求められるため、習得すべきスキルは多いのですが、エンタメ業界で働く上で最低限のスキルを効率よく習得できるように授業は進めていきます。						
到達目標	以下が達成出来るようになることを目標としている。 (1) Excelの基本的な使い方(表のデザイン、計算式)を身につける。 (2) PowerPointの基本的な使い方を身につけてプレゼンテーションスキルを上げる。 (3) Wordの基本的な使い方を身につける。 (4) Adobe Illustrator及びPhotoshopの基本的な使い方 (5) DTPの基本的な解釈と留意点 (6) デザイン的な創作の解釈と留意点						
評価方法と基準	1. 実技試験(%) : 50% 2. 筆記試験(%) : 0% 3. 課題(%) : 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	リテラシー①	テキスト事前予習
2		演習	リテラシー②	テキスト事前予習
3		演習	【Adobe】表の作り方/タイムテーブル横軸	残作業
4		演習	【Adobe】表の作り方/タイムテーブル横軸	残作業
5		演習	【Adobe】表の作り方/タイムテーブル横軸	残作業
6		演習	【Adobe】表の作り方/タイムテーブル横軸	残作業
7		演習	【Adobe】デザイン/編集	残作業
8		演習	【Adobe】デザイン/編集	残作業
9		演習	【Adobe】デザイン/編集	残作業
10		演習	【Adobe】デザイン/編集	残作業
11		演習	【Adobe】図形描画/イベントシートとステージ簡易図面	残作業
12		演習	【Adobe】図形描画/イベントシートとステージ簡易図面	残作業
13		演習	【Adobe】図形描画/イベントシートとステージ簡易図面	残作業
14		演習	【Adobe】写真加工	写真撮影
15		演習	【Adobe】写真加工	写真撮影
16		演習	【Adobe】作業工程表	作業工程案作成
17		演習	【Adobe】画像解像度	テキスト予習
18		演習	【Adobe】写真の修正加工	テキスト予習
19		演習	【PP】スライドマスタとスライド	テキスト予習
20		演習	【Adobe】自己PR資料作成	テキスト予習
21		演習	【Adobe】自己PR資料作成	テキスト予習
22		演習	【Adobe】香盤表	テキスト予習
23		演習	【Adobe】動画編集	テキスト予習
24		演習	【Adobe】動画編集	テキスト予習
25		演習	【Adobe】動画編集	テキスト予習
26		演習	【Adobe】動画編集	テキスト予習
27		演習	【Adobe】動画編集	事前資料確認
28		演習	プレゼンテーション	事前資料確認
29		演習	プレゼンテーション	事前資料確認
30		演習	プレゼンテーション	事前資料確認
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	舞台デザイン	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	佐藤晃彦
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 2	開講区分 曜日・時間	年間 金曜1限
教員の略歴	1978年より音響やローディーなどの仕事に関わり、舞台監督としてREBECCA、THE BOOM、Char、中森明菜等のコンサートを制作する。						
授業の学習 内容	コンサート現場での専門用語、しきたり、ルールなどを学び、即戦力として通用する知識を養う。						
到達目標	コンサート運営に必要な段取りを知り、タイムテーブル、舞台図面の内容を把握出来るようにする。						
評価方法と基準	定期試験 70%、授業内評価 30% 専門用語を使いこなせる						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		実習	授業の概要と進捗を解説する	授業及び実習に必要な準備物を確認する
2		実習	音楽業界で働く人の意識について学ぶ	事例・歴史を参考に日本の音楽業界の変遷について考える
3		実習	コンサートをつくるための様々な仕事を学ぶ	授業で学んだ職種を復習し、自分の興味のある仕事を見出す
4		実習	コンサートスタッフの一日を学ぶ	本番の現場をはじめ、準備段階での業務などを復習する
5		実習	コンサート会場の種類を学ぶ	授業で学んだ会場を復習し、身近にある開場を見つけてみる
6		実習	コンサート制作で作成される書類を学ぶ	参考書類を参考にテンプレートを作成する
7		実習	舞台平面図を理解する①	縮尺や用語を復習し、覚える
8		実習	舞台平面図を理解する②	バトンや幕の役割を覚える
9		実習	野外コンサートの平面図を学ぶ	仮説ステージの基本的なつくりを理解する
10		実習	タイムテーブルを理解する	タイムテーブルを参考に各業種の仕事の流れを復習する
11		実習	舞台平面図とタイムテーブルを関連づける	時間ごとにシーンが変わるという概念を理解し、転換の時間配分を考える
12		実習	タイムテーブルの作成を学ぶ	全数を参考に1日完結のイベントをシミュレーションしてみる
13		実習	筆記試験による理解度テスト	
14		実習	舞台機構実習を行う③野外フェス	タイムテーブル・平面図を理解し、転換の仕事体験する
15		実習	舞台機構実習を行う③野外フェス	タイムテーブル・平面図を理解し、転換の仕事体験する
16		実習	舞台機構実習を行う③野外フェス	タイムテーブル・平面図を理解し、転換の仕事体験する
17		実習	イベント参加者のチョイスの基準を学ぶ①	アーティスト、料金、会場、演出、グッズなど実例を参考に復習する
18		実習	イベント参加者のチョイスの基準を学ぶ②	アーティスト、料金、会場、演出、グッズなど実例を参考に復習する
19		実習	イベント実施にあたっての準備を学ぶ	前週までを参考に集客の基本を考える
20		実習	イベント実施までの制作作業について学ぶ	演者、会場、プロモーションなど全ての要素について考える
21		実習	イベント運営時の作業について学ぶ	制作というセクションについて必要な要素を考える
22		実習	イベント企画について学ぶ①	企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする
23		実習	イベント企画について学ぶ②	企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする
24		実習	イベント企画について学ぶ③	企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする
25		実習	日常のトレーニングについて①	スキルを身に着けるための考え方と具体的な方法について考える
26		実習	日常のトレーニングについて②	スキルを身に着けるための考え方と具体的な方法について考える
27		試験	筆記試験による理解度テスト	
28		実習	舞台機構実習を行う①学校ホール	卒業進級展を運営し、1年間の総括を行う
29		実習	舞台機構実習を行う②ライブハウス	卒業進級展を運営し、2年間の総括を行う
30		実習	舞台機構実習を行う③ライブハウス	卒業進級展を運営し、3年間の総括を行う
準備学習 時間外学習		授業で学んだものを実習に活用できるように整理する		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プログラム	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	植野めぐみ
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 4	開講区分	年間 月曜3.4限
教員の略歴	コンサート、イベント、広告、番組制作の総合制作会社(仙台)に10年以上勤務。自治体、企業のセールスプロモーションや商品プロデュース、博覧会、番組の構成、様々なジャンルのイベントディレクションをはじめ、アーティストへのインタビューやコンサートタアップ事業のプランなど音楽・エンタメ業界実務経験は多岐に渡る。						
授業の学習 内容	①コンサートやイベントを含む音楽業界ではもちろん、クリエイティブな世界で大切なアイデア創出のコツや、円滑なコミュニケーションスキルを身につけ、現場での即戦力を目指すよう、具体的な課題に取り組んでもらう。 ②1つのテーマ毎に「講義」と「演習」を組み合わせたカリキュラムで構成し、インプットとアウトプットを繰り返すことで実践的な学びを行う。トライアル&エラーと感動体験を繰り返し行うことで、現場に出て物怖じしないメンタル形成もサポートする。 ③現場力以前の必要最低限の業界基礎知識「コミュニケーション&プレゼンテーション」力を身につけられる座学と実習						
到達目標	●エンターテインメント業界を「自分の職場にすること」に、具体的なイメージをもって学びに取り組みめるようにする。						
評価方法と基準	●学校既定の出席数、講義や実習での主体性や、学生の個性および取り組み姿勢も重視する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	オリエンテーション①「自己紹介」セルフプロモーション実習。自己紹介を通して、アーティストやイベントプロモーションの考え方をコミュニケーションを学ぶ	テキスト事前予習
2		演習	オリエンテーション②インタビュー実習と他者紹介「ペアまたはグループ」を組み、相手「取材」し紹介する。学生同士のコミュニケーション醸成と、PRの基本である情報収集のコツと人前でプレゼンをする	テキスト事前予習
3		演習	主に宮城県内におけるコンサートやライブを含む様々なイベントの実施例や関わる職種、業種を知る。自分がどのように関わってみたいかをイメージして企画制作 運営を学ぶ。	残作業
4		演習	コンサートやライブを含む様々なイベントの企画制作に關わるための必要スキルを学ぶ①	残作業
5		演習	音楽業界と各メディアの関わり、プロモーションの種類など	残作業
6		演習	コンサートやライブを含む様々なイベントの企画制作に關わるための必要スキルを学ぶ②具体的なプランニングメソッドとプロモーション計画の作り方	残作業
7		演習	コンサートやライブを含む様々なイベントの企画制作とプロモーション計画立案に必要なスキルを学ぶ③プレスト、ディスカッション実習	残作業
8		演習	コンサートやライブを含む様々なイベントの企画制作とプロモーション計画立案に必要なスキルを学ぶ④インタビュー、ヒアリング実習	残作業
9		演習	実際のコンサートや音楽イベントを題材に、企画制作案をグループごとにまとめ、発表するデモプレゼンを行う。①※共通テーマをえ、グループごとに発表。企画評価のディスカッションも行う。	残作業
10		演習	実際のコンサートや音楽イベントを題材に、企画制作案をグループごとにまとめ、発表するデモプレゼンを行う。②※共通テーマをえ、グループごとに発表。企画評価のディスカッションも行う。	残作業
11		演習	★HOMなど学校催事運動講義、実習①	残作業
12		演習	タイムテーブルの作成を学ぶ	全数を参考に1日完結のイベントをシミュレーションしてみる
13		演習	筆記試験による理解度テスト	
14		演習	舞台機構実習を行う③野外フェス	タイムテーブル・平面図を理解し、転換の仕事を経験する
15		演習	舞台機構実習を行う③野外フェス	タイムテーブル・平面図を理解し、転換の仕事を経験する
16		演習	舞台機構実習を行う③野外フェス	タイムテーブル・平面図を理解し、転換の仕事を経験する
17		演習	イベント参加者のチョイスの基準を学ぶ①	アーティスト、料金、会場、演出、グッズなど実例を参考に復習する
18		演習	イベント参加者のチョイスの基準を学ぶ②	アーティスト、料金、会場、演出、グッズなど実例を参考に復習する
19		演習	イベント実施にあたっての準備を学ぶ	前週までを参考に集客の基本を考える
20		演習	イベント実施までの制作作業について学ぶ	演者、会場、プロモーションなど全ての要素について考える
21		演習	イベント運営時の作業について学ぶ	制作というセクションについて必要な要素を考える
22		演習	イベント企画について学ぶ①	企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする
23		演習	イベント企画について学ぶ②	企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする
24		演習	イベント企画について学ぶ③	企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする
25		演習	日常のトレーニングについて①	スキルを身に付けるための考え方と具体的な方法について考える
26		演習	日常のトレーニングについて②	スキルを身に付けるための考え方と具体的な方法について考える
27		演習	筆記試験による理解度テスト	
28		演習	舞台機構実習を行う①学校ホール	卒業進級展を運営し、1年間の総括を行う
29		演習	舞台機構実習を行う②ライブハウス	卒業進級展を運営し、2年間の総括を行う
30		演習	舞台機構実習を行う③ライブハウス	卒業進級展を運営し、3年間の総括を行う
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	パフォーマンス	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	森谷 諭
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分 曜日・時限	水曜3.4限
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナーとして、音楽雑誌への寄稿や現役プロへの指導、専門学校講師を務める						
授業の学習 内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されているAbleton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	実技試験						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	オリエンテーション	事前配布資料による学習
2		演習	Audio Sampleを使ったトラックメイク	事前配布資料による学習
3		演習	Ableton Pushを使ったトラックメイク	事前配布資料による学習
4		演習	Ableton Pushを使ったトラックメイク	事前配布資料による学習
5		演習	Ableton Pushを使ったトラックメイク	事前配布資料による学習
6		演習	Ableton Pushを使ったトラックメイク	事前配布資料による学習
7		演習	リズムの取り方	事前配布資料による学習
8		演習	様々なジャンルを知る	事前配布資料による学習
9		演習	AudioとMIDIの違い	事前配布資料による学習
10		演習	Audioのレコーディング方法	事前配布資料による学習
11		演習	Audio Effect、MIDI Effectを知る	事前配布資料による学習
12		演習	前期課程の復習	事前配布資料による学習
13		演習	課題曲制作	残作業
14		演習	課題曲制作	残作業
15		演習	定期試験	試験対策
16		演習	Ableton Pushの操作に関する復習	事前配布資料による学習
17		演習	Samplingでのトラックメイク	事前配布資料による学習
18		演習	Samplingでのトラックメイク	事前配布資料による学習
19		演習	Samplingでのトラックメイク	事前配布資料による学習
20		演習	Samplingでのトラックメイク	事前配布資料による学習
21		演習	Samplingでのトラックメイク	事前配布資料による学習
22		演習	各種Effectに関する復習	事前配布資料による学習
23		演習	楽曲のミキシングについて	事前配布資料による学習
24		演習	楽曲のミキシングについて	事前配布資料による学習
25		演習	楽曲のミキシングについて	事前配布資料による学習
26		演習	楽曲のミキシングについて	事前配布資料による学習
27		演習	前期課程の復習	事前配布資料による学習
28		演習	課題曲制作	残作業
29		演習	課題曲制作	残作業
30		演習	定期試験	試験対策
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	パフォーマンス2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	森谷 諭
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分 曜日・時限	水曜5.6限
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナーとして、音楽雑誌への寄稿や現役プロへの指導、専門学校講師を務める						
授業の学習 内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されているAbleton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	実技試験						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	Ableton Live(DAW)や Pushでの制作について	事前配布資料による学習
2		演習	サンプル音源のトラックメイク	事前配布資料による学習
3		演習	サンプル音源のトラックメイク	事前配布資料による学習
4		演習	サンプル音源の加工口	事前配布資料による学習
5		演習	サンプル音源の加工口	事前配布資料による学習
6		演習	サンプル音源の加工口	事前配布資料による学習
7		演習	様々なリズムワークを知る	事前配布資料による学習
8		演習	Spotify等を使用し様々なジャンルをアーティストで解説	事前配布資料による学習
9		演習	事前配布資料による学習	事前配布資料による学習
10		演習	マイクを使い環境音等のRECの仕方を解説	事前配布資料による学習
11		演習	Ableton Live(DAW)中でEffectを解説口	事前配布資料による学習
12		演習	事前配布資料による学習	事前配布資料による学習
13		演習	残作業	残作業
14		演習	残作業	残作業
15		演習	試験対策	試験対策
16		演習	Pushでの打ち込みやライブセッションの確認	事前配布資料による学習
17		演習	サンプルを使用しリズムを打ち込んでいく	事前配布資料による学習
18		演習	サンプルを使用しリズムを打ち込んでいく	事前配布資料による学習
19		演習	サンプルを使用し上物を打ち込んでいく口	事前配布資料による学習
20		演習	サンプルを使用し上物を打ち込んでいく口	事前配布資料による学習
21		演習	サンプルを使用し上物を打ち込んでいく口	事前配布資料による学習
22		演習	Ableton Live(DAW)中でEffectの操作	事前配布資料による学習
23		演習	ハードプラグインを使用しミキシングを行う	事前配布資料による学習
24		演習	ハードプラグインを使用しミキシングを行う	事前配布資料による学習
25		演習	ハードプラグインを使用しミキシングを行う	事前配布資料による学習
26		演習	ハードプラグインを使用しマスタリングを行う	事前配布資料による学習
27		演習	事前配布資料による学習	事前配布資料による学習
28		演習	残作業	残作業
29		演習	残作業	残作業
30		演習	定期試験	試験対策
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	パフォーマンス	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	森谷 諭
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分 曜日・時限	月曜5.6限
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナーとして、音楽雑誌への寄稿や現役プロへの指導、専門学校講師を務める						
授業の学習 内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されているAbleton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	実技試験						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	Ableton Live(DAW)や Pushでの制作について	事前配布資料による学習
2		演習	サンプル音源のトラックメイク	事前配布資料による学習
3		演習	サンプル音源のトラックメイク	事前配布資料による学習
4		演習	サンプル音源の加工口	事前配布資料による学習
5		演習	サンプル音源の加工口	事前配布資料による学習
6		演習	サンプル音源の加工口	事前配布資料による学習
7		演習	様々なリズムワークを知る	事前配布資料による学習
8		演習	Spotify等を使用し様々なジャンルをアーティストで解説	事前配布資料による学習
9		演習	事前配布資料による学習	事前配布資料による学習
10		演習	マイクを使い環境音等のRECの仕方を解説	事前配布資料による学習
11		演習	Ableton Live(DAW)中でEffectを解説口	事前配布資料による学習
12		演習	事前配布資料による学習	事前配布資料による学習
13		演習	残作業	残作業
14		演習	残作業	残作業
15		演習	試験対策	試験対策
16		演習	Pushでの打ち込みやライブセッションの確認	事前配布資料による学習
17		演習	サンプルを使用しリズムを打ち込んでいく	事前配布資料による学習
18		演習	サンプルを使用しリズムを打ち込んでいく	事前配布資料による学習
19		演習	サンプルを使用し上物を打ち込んでいく口	事前配布資料による学習
20		演習	サンプルを使用し上物を打ち込んでいく口	事前配布資料による学習
21		演習	サンプルを使用し上物を打ち込んでいく口	事前配布資料による学習
22		演習	Ableton Live(DAW)中でEffectの操作	事前配布資料による学習
23		演習	ハードプラグインを使用しミキシングを行う	事前配布資料による学習
24		演習	ハードプラグインを使用しミキシングを行う	事前配布資料による学習
25		演習	ハードプラグインを使用しミキシングを行う	事前配布資料による学習
26		演習	ハードプラグインを使用しマスタリングを行う	事前配布資料による学習
27		演習	事前配布資料による学習	事前配布資料による学習
28		演習	残作業	残作業
29		演習	残作業	残作業
30		演習	定期試験	試験対策
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テクノロジー	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	則兼 大地
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分 曜日・時間	木曜1.2限
教員の略歴	白Aの映像ディレクターとして活動。世界30か国で500公演以上を行い、10万人以上のオーディエンスを動員						
授業の学習 内容	①映像、動画の需要が急速に高まっている中で、一定レベルの映像制作スキルと、現場のオペレーション能力は更に必須になってくる。 ②0-1の授業等で企画されたイベント、ライブの制作、オペレーションまでを実際に担う。 ③、プロジェクションマッピング始めとした、映像演出、方法を学び、「面白さ」「興奮」「感動」を生む事の楽しさと、その価値を知ってもらいたい。						
到達目標	①AfterEffects(Photoshop/illustratorも部分的に含む)の基本的な使い方を理解できる。 ②効果的な映像演出と、具体的なワークフローについて理解できる。 ③現場での映像オペレーションの方法が理解できる。						
評価方法と基準	筆記、または実制作物の採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	授業の目的、お互いの自己紹介とヒアリング	自己紹介の内容(あれば過去の制作物をまとめておく)
2		演習	AfterEffects① 基本操作	5～10秒程度の映像作品提出
3		演習	modul8基本操作と出来ること	AfterEffects,modul8を組み合わせた作品案を考える
4		演習	作品案の評価 / AfterEffects② 基本操作	テキストを元に事前学習
5		演習	ブレインストーミング	テキストを元に事前学習
6		演習	映像制作のワークフロー / AfterEffects③ 応用	テキストを元に事前学習
7		演習	映像機材の知識と組み方 / プロジェクターを使ってみよう	テキストを元に事前学習
8		演習	白Aの演目を作ろう①(制作)	テキストを元に事前学習
9		演習	白Aの演目を作ろう②(制作)	テキストを元に事前学習
10		演習	前期課題ブレインストーミング / チーム決め	作品の内容を深める
11		演習	課題制作 / 効果的な演出のコツ	残作業
12		演習	課題制作 / 効果的な演出のコツ	残作業
13		演習	課題制作 / 映像オペレーションで抑えるポイント	残作業
14		演習	課題制作 / 映像オペレーションで抑えるポイント	残作業
15		演習	課題発表	プレゼン資料作成
16		演習	前期の制作振り返り/ 前期の復習	テキストを元に事前学習
17		演習	白Aの演目を作ろう③	テキストを元に事前学習
18		演習	白Aの演目を作ろう④	テキストを元に事前学習
19		演習	後期の課題ブレインストーミング	テキストを元に事前学習
20		演習	オリジナル課題方向性決め	テキストを元に事前学習
21		演習	オリジナル課題制作①	残作業
22		演習	オリジナル課題制作②	残作業
23		演習	オリジナル課題制作③	残作業
24		演習	オリジナル課題制作④	残作業
25		演習	オリジナル課題制作⑤	残作業
26		演習	オリジナル課題制作⑥	残作業
27		演習	オリジナル課題制作⑦	残作業
28		演習	オリジナル課題制作⑧	残作業
29		演習	課題発表/プレゼンテーション	プレゼン資料作成
30		演習	課題発表/プレゼンテーション	プレゼン資料作成
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テクノロジー	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	則兼 大地
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分	木曜3.4限 曜日・時限
教員の略歴	白Aの映像ディレクターとして活動。世界30か国で500公演以上を行い、10万人以上のオーディエンスを動員						
授業の学習 内容	①映像、動画の需要が急速に高まっている中で、一定レベルの映像制作スキルと、現場のオペレーション能力は更に必須になってくる。 ②0-1の授業等で企画されたイベント、ライブの制作、オペレーションまでを実際に担う。 ③、プロジェクションマッピング始めとした、映像演出、方法を学び、「面白さ」「興奮」「感動」を生む事の楽しさと、その価値を知ってもらいたい。						
到達目標	①AfterEffects(Photoshop/illustratorも部分的に含む)の基本的な使い方を理解できる。 ②効果的な映像演出と、具体的なワークフローについて理解できる。 ③現場での映像オペレーションの方法が理解できる。						
評価方法と基準	筆記、または実制作物の採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	授業の目的、お互いの自己紹介とヒアリング	自己紹介の内容(あれば過去の制作物をまとめておく)
2		演習	AfterEffects① 応用操作	5～10秒程度の映像作品提出
3		演習	modul8応用操作と出来ること	AfterEffects,modul8を組み合わせた作品案を考える
4		演習	作品案の評価 / AfterEffects② 応用 操作	テキストを元に事前学習
5		演習	ブレインストーミング	テキストを元に事前学習
6		演習	課題制作 / 効果的な演出のコツ	残作業
7		演習	課題制作 / 効果的な演出のコツ	残作業
8		演習	課題制作 / 映像オペレーションで抑えるポイント	残作業
9		演習	課題制作 / 映像オペレーションで抑えるポイント	残作業
10		演習	前期課題ブレインストーミング / チーム決め	作品の内容を深める
11		演習	課題制作 / 効果的な演出のコツ	残作業
12		演習	課題制作 / 効果的な演出のコツ	残作業
13		演習	課題制作 / 映像オペレーションで抑えるポイント	残作業
14		演習	課題制作 / 映像オペレーションで抑えるポイント	残作業
15		演習	課題発表	プレゼン資料作成
16		演習	前期の制作振り返り/ 前期の復習	テキストを元に事前学習
17		演習	外部演目を作ろう③	テキストを元に事前学習
18		演習	外部演目を作ろう③	テキストを元に事前学習
19		演習	後期の課題ブレインストーミング	テキストを元に事前学習
20		演習	オリジナル課題方向性決め	テキストを元に事前学習
21		演習	オリジナル課題制作①	残作業
22		演習	オリジナル課題制作②	残作業
23		演習	オリジナル課題制作③	残作業
24		演習	オリジナル課題制作④	残作業
25		演習	オリジナル課題制作⑤	残作業
26		演習	オリジナル課題制作⑥	残作業
27		演習	オリジナル課題制作⑦	残作業
28		演習	オリジナル課題制作⑧	残作業
29		演習	課題発表/プレゼンテーション	プレゼン資料作成
30		演習	課題発表/プレゼンテーション	プレゼン資料作成
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テクノロジー	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	則兼 大地
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分 曜日・時限	木曜3.4限
教員の略歴	白Aの映像ディレクターとして活動。世界30か国で500公演以上を行い、10万人以上のオーディエンスを動員						
授業の学習 内容	①映像、動画の需要が急速に高まっている中で、一定レベルの映像制作スキルと、現場のオペレーション能力は更に必須になってくる。 ②0-1の授業等で企画されたイベント、ライブの制作、オペレーションまでを実際に担う。 ③、プロジェクションマッピング始めとした、映像演出、方法を学び、「面白さ」「興奮」「感動」を生む事の楽しさと、その価値を知ってもらいたい。						
到達目標	①AfterEffects(Photoshop/illustratorも部分的に含む)の基本的な使い方を理解できる。 ②効果的な映像演出と、具体的なワークフローについて理解できる。 ③現場での映像オペレーションの方法が理解できる。						
評価方法と基準	筆記、または実制作物の採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	授業の目的、お互いの自己紹介とヒアリング	自己紹介の内容(あれば過去の制作物をまとめておく)
2		演習	AfterEffects① 応用操作	5～10秒程度の映像作品提出
3		演習	modul8応用操作と出来ること	AfterEffects,modul8を組み合わせた作品案を考える
4		演習	作品案の評価 / AfterEffects② 応用 操作	テキストを元に事前学習
5		演習	ブレインストーミング	テキストを元に事前学習
6		演習	課題制作 / 効果的な演出のコツ	残作業
7		演習	課題制作 / 効果的な演出のコツ	残作業
8		演習	課題制作 / 映像オペレーションで抑えるポイント	残作業
9		演習	課題制作 / 映像オペレーションで抑えるポイント	残作業
10		演習	前期課題ブレインストーミング / チーム決め	作品の内容を深める
11		演習	課題制作 / 効果的な演出のコツ	残作業
12		演習	課題制作 / 効果的な演出のコツ	残作業
13		演習	課題制作 / 映像オペレーションで抑えるポイント	残作業
14		演習	課題制作 / 映像オペレーションで抑えるポイント	残作業
15		演習	課題発表	プレゼン資料作成
16		演習	前期の制作振り返り/ 前期の復習	テキストを元に事前学習
17		演習	外部演目を作ろう③	テキストを元に事前学習
18		演習	外部演目を作ろう③	テキストを元に事前学習
19		演習	後期の課題ブレインストーミング	テキストを元に事前学習
20		演習	オリジナル課題方向性決め	テキストを元に事前学習
21		演習	オリジナル課題制作①	残作業
22		演習	オリジナル課題制作②	残作業
23		演習	オリジナル課題制作③	残作業
24		演習	オリジナル課題制作④	残作業
25		演習	オリジナル課題制作⑤	残作業
26		演習	オリジナル課題制作⑥	残作業
27		演習	オリジナル課題制作⑦	残作業
28		演習	オリジナル課題制作⑧	残作業
29		演習	課題発表/プレゼンテーション	プレゼン資料作成
30		演習	課題発表/プレゼンテーション	プレゼン資料作成
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	マネジメント	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	菱沼 勇二
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分	水曜1.2限 曜日・時限
教員の略歴	パフォーマンスグループ合同会社白Aのディレクターとして各種イベントのプロデュース・マネジメントを行う						
授業の学習 内容	新規事業を生み出すための企画力、発想力、プレゼン力を講義と実技の両面から鍛える。						
到達目標	企画した事業の実施。						
評価方法と基準	事業の企画書、実施した事業のクオリティ、スピード、マーケティング、アイデアの4部門を評価。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	0 to 1 新規事業とは何か?説明	事前配布テキスト参照
2		演習	「インプット」と「アウトプット」説明、実践	事前配布テキスト参照
3		演習	「マーケティング」成功する戦略を立てる方法	事前配布テキスト参照
4		演習	「ブレインストーミング」集団発想法の説明、実践	事前配布テキスト参照
5		演習	「言語化」ネーミングとコピーライティング	事前配布テキスト参照
6		演習	「企画書」制作。眺めてるだけで頭に入るように①	事前配布テキスト参照
7		演習	「企画書」制作。眺めてるだけで頭に入るように②	事前配布テキスト参照
8		演習	「プレゼンテーション」。会話するようなプレゼン。	事前配布テキスト参照
9		演習	「新規事業」開発演習①	事前配布テキスト参照
10		演習	「新規事業」開発演習②	事前配布テキスト参照
11		演習	「新規事業」開発演習③	事前配布テキスト参照
12		演習	「新規事業」開発演習④	事前配布テキスト参照
13		演習	「新規事業」開発演習⑤	事前配布テキスト参照
14		演習	「新規事業」開発演習⑥	事前配布テキスト参照
15		演習	プレゼンテーション	事前配布テキスト参照
16		演習	「新規事業」開発演習①	事前配布テキスト参照
17		演習	「新規事業」開発演習②	事前配布テキスト参照
18		演習	「新規事業」開発演習③	事前配布テキスト参照
19		演習	「新規事業」開発演習④	事前配布テキスト参照
20		演習	「新規事業」開発演習⑤	事前配布テキスト参照
21		演習	「新規事業」開発演習⑥	事前配布テキスト参照
22		演習	プレゼンテーション	事前配布テキスト参照
23		演習	「新規事業」開発演習①	事前配布テキスト参照
24		演習	「新規事業」開発演習②	事前配布テキスト参照
25		演習	「新規事業」開発演習③	事前配布テキスト参照
26		演習	「新規事業」開発演習④	事前配布テキスト参照
27		演習	「新規事業」開発演習⑤	事前配布テキスト参照
28		演習	「新規事業」開発演習⑥	事前配布テキスト参照
29		演習	プレゼンテーション	事前配布テキスト参照
30		演習	振り返り	事前配布テキスト参照
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	マネジメン	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	菱沼 勇二
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分 曜日・時限	水曜3.4限
教員の略歴	パフォーマンスグループ合同会社白Aのディレクターとして各種イベントのプロデュース・マネジメントを行う						
授業の学習 内容	新規事業を生み出すための企画力、発想力、プレゼン力を講義と実技の両面から鍛える。						
到達目標	企画した事業の実施。						
評価方法と基準	事業の企画書、実施した事業のクオリティ、スピード、マーケティング、アイデアの4部門を評価。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	0 to 1 新規事業とは何か?説明	事前配布テキスト参照
2		演習	「ブレインストーミング」集団発想法の説明、実践	事前配布テキスト参照
3		演習	「マーケティング」成功する戦略を立てる方法	事前配布テキスト参照
4		演習	「新規事業」開発演習①	事前配布テキスト参照
5		演習	「新規事業」開発演習②	事前配布テキスト参照
6		演習	「新規事業」開発演習③	事前配布テキスト参照
7		演習	「言語化」ネーミングとコピーライティング	事前配布テキスト参照
8		演習	「企画書」制作。眺めてるだけで頭に入るように①	事前配布テキスト参照
9		演習	「企画書」制作。眺めてるだけで頭に入るように②	事前配布テキスト参照
10		演習	「プレゼンテーション」。会話するようなプレゼン。	事前配布テキスト参照
11		演習	「新規事業」開発演習③	事前配布テキスト参照
12		演習	「新規事業」開発演習④	事前配布テキスト参照
13		演習	「新規事業」開発演習⑤	事前配布テキスト参照
14		演習	「新規事業」開発演習⑥	事前配布テキスト参照
15		演習	プレゼンテーション	事前配布テキスト参照
16		演習	「新規事業」開発演習①	事前配布テキスト参照
17		演習	「新規事業」開発演習②	事前配布テキスト参照
18		演習	「新規事業」開発演習③	事前配布テキスト参照
19		演習	「新規事業」開発演習④	事前配布テキスト参照
20		演習	「新規事業」開発演習⑤	事前配布テキスト参照
21		演習	「新規事業」開発演習⑥	事前配布テキスト参照
22		演習	プレゼンテーション	事前配布テキスト参照
23		演習	「新規事業」開発演習①	事前配布テキスト参照
24		演習	「新規事業」開発演習②	事前配布テキスト参照
25		演習	「新規事業」開発演習③	事前配布テキスト参照
26		演習	「新規事業」開発演習④	事前配布テキスト参照
27		演習	「新規事業」開発演習⑤	事前配布テキスト参照
28		演習	「新規事業」開発演習⑥	事前配布テキスト参照
29		演習	プレゼンテーション	事前配布テキスト参照
30		演習	振り返り	事前配布テキスト参照
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	マネジメントプロジェクト	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	條範行
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分 曜日・時限	年間 月曜3.4限
教員の略歴	1998年より(株)東北共立に所属し、コンサート・舞台等の現場にてPAエンジニアとして活躍する。						
授業の学習 内容	卒業までの残り1年間となり、卒業後の就職を具体的に考える 1.2年生の復習 PA機器接続の理解 個々の楽器の音の作り方を学び、音量・音質・バランスの感覚を習得する。 舞台機構調整技能士3級の実技・ヒアリング・筆記試験の反復練習 作業スピードを上げるにはどうするかを考えさせる						
到達目標	PA機器を全員が接続～いい音を出せるようになる バンドのミックスバランスを習得する ミュージカル本番を想定した仕込み～本番～バラシの時間を考える トータルコーディネートを考える						
評価方法と基準	定期テスト 実技テスト						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	各自卒業後の目標を立て、それに向けてどのようなスキルを磨いていべきかディスカッションを行う	目標シートを作成する
2		演習	仮設PAセットのシステムを理解し、組み立て・接続をできるようにする①	セッティングシート・回線図を作成する
3		演習	仮設PAセットのシステムを理解し、組み立て・接続をできるようにする②	グループワークの分担表を作成する
4		演習	仮設PAセットのシステムを理解し、組み立て・接続をできるようにする③	設定時間内に作業ができるよう練習する
5		演習	周波数の帯域を理解し、自分の耳で変化を聞き分ける訓練を行う①	各種機器に備わっているイコライザーの特性を理解する
6		演習	周波数の帯域を理解し、自分の耳で変化を聞き分ける訓練を行う②	メインスピーカ、モニタースピーカ、ヘッドホンなど異なる機器による出音の違いを知る
7		演習	デジタル卓を使用して設定方法を習得する①	AD/DAコンバーター・Dante・LAN・マトリックスについて復習する
8		演習	デジタル卓を使用して設定方法を習得する②	Wifiとipadアプリでのコントロール・マイク・音源を使用したサウンドチェック復習する
9		演習	外部ホール実習、舞台機構を学ぶ	図面を見て内容を理解する
10		演習	ライブイベントに向けての準備を行う	出演者情報を基にプランシートを作成する
11		演習	ライブイベントに向けてのサウンドチェックを行う	出演者を交えてコラボレーションイベント制作を行う
12		演習	ライブイベントゲネプロ	出演者を交えてコラボレーションイベント制作を行う
13		演習	ライブイベント本番①	出演者を交えてコラボレーションイベント制作を行う
14		演習	ライブイベント本番②	出演者を交えてコラボレーションイベント制作を行う
15		演習	ワイヤレスマイクの種類とチャンネルプランについて習得する	ハンドタイプ、ベルトバックタイプそれぞれのバッテリーやボタン設定などを確認する
16		演習	外部ホール実習、ワイヤレスマイクのオペレーションを行う	事前に特定ラジオマイク連盟への申請書類を作成し、送信する
17		演習	音作り・エフェクタの使用方法を学ぶ	コンプレッサー、リミッターなどダイナミクス系エフェクトの基本的なセッティングを復習する
18		演習	音作り・エフェクタの使用方法を学ぶ②	リバーブ、ディレイなど空間系エフェクトの基本的なセッティングを復習する
19		演習	実技試験：デジタル回線を使用した音響機器の組み立てとオペレートを行う	実際の機器を準備して予習する
20		演習	回線表・プランの作成方法を習得する	仮想のライブを見立てて各自で回線表を作成しプラン通りのセッティングを行ってみる
21		演習	ミュージカルを想定し回線プランを作成する①	昨年度までの各種資料を基に実際の新曲等を加えたプランをグループで作成する
22		演習	ミュージカルを想定し回線プランを作成する②	本番で利用するホールのプラン及びリバーサル用の設定など各種作成してみる
23		演習	スピーカークのチューニングを習得する①	ピンクノイズを鳴らしてHI、HI-MID、MID、LOWのなり方を聴き比べる
24		演習	外部ホール実習、ミュージカルバンドのオペレートを体験する	出演者の情報を事前に入手し、円滑な進行ができるよう準備する
25		演習	ピンマイクの扱い方を習得する①	ラベリアマイクロフォンの特性について教科書とマニュアルを見比べて復習する
26		演習	ピンマイクの扱い方を習得する②	実際の現場で取り付けるために必要なテープ類や汗を防ぐ養生用品を復習する
27		演習	トラブルシューティング、ステージ上で起こりうるトラブルについて学ぶ①	参考用のライブ映像を鑑賞し、トラブルの起こりやすい環境、場面を考える
28		演習	トラブルシューティング、PA卓上で起こりうるトラブルについて学ぶ②	デジタル卓で起こりうる、デジタルループやネットワーク回線トラブルについて復習する
29		演習	実技・筆記試験：舞台機構調整士技能認定3級試験を想定したテストを行う	過去問題を参考に予習する
30		演習	外部ホール実習、卒業進級展ライブ実習を行う	出演者との綿密な情報交換と、各セッションとのミーティングを行い、クリアにする
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プロデュース	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	若泉絵子
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分 曜日・時限	木曜5.6限
教員の略歴	声優歴30年。講師歴AS企画3年、E-spring22年、テアトルアカデミー20年。後者2つは継続中。						
授業の学習 内容	2年生の集大成として「ボイスドラマ」のwe areでの発表を目指す。2年生ではすでに書きあがっている台本を用いてボイスドラマへの取り組みを学習、実践する。自分の最大限の力を以て表現し残したい。また編集をすることで、自分や人の演技を客観的に見つめ、実際に編集作業をするプロの方の苦労を知り、どんなプレイヤーであればより使ってもらえるかを考えさせたい。総じて、力を合わせて1つの作品を作り上げ、実践に出られるだけの演技と客観的な判断力を身につけることを目的とする。 同時に外画の演技、収録を学ぶ。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ボイスドラマの収録で、自分の最大限の演技が出来る。 ボイスドラマ、外画において、会話を成立させスムーズな収録が出来る。 編集作業において、1つのドラマをバランスよく仕上げる事が出来る。 *we areでボイスドラマをYouTubeにて発信することで人から評価され、プロとしての意識を持つ。 (後期まで仕掛け)						
評価方法と基準	①平常/70%(出席数・授業態度) ②録音実習/30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	ボイスドラマの台本も読み解くことが出来る① 外画の台本を読み解くことが出来る。①	課題:外画未定 Vドラマ「Re:promise」予定
2		演習	ボイスドラマの台本も読み解くことが出来る② 外画の台本を読み解くことが出来る。②	台本読み
3		演習	ボイスドラマの台本も読み解くことが出来る③ 外画の台本を読み解くことが出来る。③	台本読み
4		演習	ボイスドラマの台本も読み解くことが出来る④ 外画の台本を読み解くことが出来る。④	台本読み
5		演習	ボイスドラマの台本も読み解くことが出来る⑤ 外画の台本を読み解くことが出来る。⑤	台本読み
6		演習	ボイスドラマの台本も読み解くことが出来る⑥ 外画の台本を読み解くことが出来る。⑥	台本読み
7		演習	ボイスドラマの台本も読み解くことが出来る⑦ 外画の台本を読み解くことが出来る。⑦	台本読み
8		演習	ボイスドラマの台本も読み解くことが出来る⑧ 外画の台本を読み解くことが出来る。⑧	台本読み
9		演習	外画の録音実習ができる	
10		演習	ボイスドラマの収録が出来る①	
11		演習	ボイスドラマの収録が出来る②	
12		演習	ボイスドラマの収録が出来る③ 「外画」の録音を聞き自己評価できる。	
13		演習	収録	制作準備
14		演習	収録	制作準備
15		演習	テスト	
16		演習	ボイスドラマの収録が出来る①	
17		演習	ボイスドラマの収録が出来る②	
18		演習	ボイスドラマの収録が出来る③	
19		演習	ボイスドラマの収録が出来る④	
20		演習	ボイスドラマの収録が出来る⑤	
21		演習	ボイスドラマの収録が出来る⑥	
22		演習	「日本アニメ」の台本が読め、表現できる①	課題:「日本アニメ」台本①
23		演習	「日本アニメ」の台本が読め、表現できる②	
24		演習	「日本アニメ」を収録、聴いた時に客観的に判断できる。	
25		演習	「日本アニメ」の台本が読め、表現できる①	課題:「日本アニメ」台本②
26		演習	「日本アニメ」の台本が読め、表現できる②	
27		演習	「日本アニメ」を収録、聴いた時に客観的に判断できる。	
28		演習	収録	制作準備
29		演習	テスト	テキスト読み返し
30		演習	振り返り	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	制作演習	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	深井 誠
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分	集中
教員の略歴	アーティストへの楽曲提供の他・CM・劇伴の楽曲アレンジを担当						
授業の学習内 容	2年生のオリジナルアルバム制作のグループメンバーとして制作作業を共同で行う 作詞・作曲・レコーディング・ミキシング・マスタリングなど						
到達目標	3年目に行う各自の各品制作に向けて、プロセス、スケジュール管理、クオリティチェックなど与えられた期間内に め切を意識した作業工程を身につける						
評価方法と基準	1. 授業内評価 (%) :50% 2. 筆記試験 (%) : 0% 3. 課題 (%) : 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	グループ編成・ミーティングを行う
2	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
3	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
4	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
5	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
6	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
7	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
8	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
9	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
10	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
11	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
12	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
13	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
14	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	プレゼンテーションリハーサルを行う
15	/	演習	卒業進級展で発表する	企業プレゼンテーション本番を行う
16	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	グループ編成・ミーティングを行う
17	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
18	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
19	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
20	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
21	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
22	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
23	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
24	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
25	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
26	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
27	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
28	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
29	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	プレゼンテーションリハーサルを行う
30	/	演習	卒業進級展で発表する	企業プレゼンテーション本番を行う
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	制作演習	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	深井 誠
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	180 12	開講区分	集中
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科						
教員の略歴	アーティストへの楽曲提供の他・CM・劇伴の楽曲アレンジを担当						
授業の学習内容	作曲クラスとコラボレーションして、業界にリクレーティングをする為のオリジナル作品を各自作成する 作詞・作曲・レコーディング・ミキシング・マスタリングなど						
到達目標	グループワークで1枚40分以上ある音楽アルバムを作成し、卒業進級展にて業界各企業にプレゼンテーションを行う						
評価方法と基準	1. 授業内評価(%) :50% 2. 筆記試験(%) : 0% 3. 課題(%) : 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	グループ編成・ミーティングを行う
2	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	アレンジを含めた伴奏とメロディーで楽曲制作を行う
3	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	アレンジを含めた伴奏とメロディーで楽曲制作を行う
4	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	FXを入れる
5	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	LOOPを入れる
6	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	LOOPを入れる
7	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ドラムレコーディングを行う
8	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ギターレコーディングを行う
9	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ベースレコーディングを行う
10	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ボーカルレコーディングを行う
11	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ハードプラグインを使用しミキシングを行う
12	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ハードプラグインを使用しミキシングを行う
13	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ハードプラグインを使用しマスタリングを行う
14	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	プレゼンテーションリハーサルを行う
15	/	演習	卒業進級展で発表する	企業プレゼンテーション本番を行う
16	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	グループ編成・ミーティングを行う
17	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	アレンジを含めた伴奏とメロディーで楽曲制作を行う
18	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	アレンジを含めた伴奏とメロディーで楽曲制作を行う
19	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	FXを入れる
20	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	LOOPを入れる
21	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	LOOPを入れる
22	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ドラムレコーディングを行う
23	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ギターレコーディングを行う
24	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ベースレコーディングを行う
25	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ボーカルレコーディングを行う
26	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ハードプラグインを使用しミキシングを行う
27	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ハードプラグインを使用しミキシングを行う
28	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ハードプラグインを使用しマスタリングを行う
29	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	プレゼンテーションリハーサルを行う
30	/	演習	卒業進級展で発表する	企業プレゼンテーション本番を行う
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	制作演習	必修 選択	必修	年次	3年	担当教員	深井 誠
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	180 12	開講区分	集中
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科						
教員の略歴	アーティストへの楽曲提供の他・CM・劇伴の楽曲アレンジを担当						
授業の学習内容	作曲クラスとコラボレーションして、業界にリクレーティングをする為のオリジナル作品を各自作成する 作詞・作曲・レコーディング・ミキシング・マスタリングなど						
到達目標	グループワークで1枚40分以上ある音楽アルバムを作成し、卒業進級展にて業界各企業にプレゼンテーションを行う						
評価方法と基準	1. 授業内評価(%) :50% 2. 筆記試験(%) : 0% 3. 課題(%) : 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	グループ編成・ミーティングを行う
2	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	アレンジを含めた伴奏とメロディーで楽曲制作を行う
3	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	アレンジを含めた伴奏とメロディーで楽曲制作を行う
4	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	FXを入れる
5	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	LOOPを入れる
6	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	LOOPを入れる
7	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ドラムレコーディングを行う
8	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ギターレコーディングを行う
9	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ベースレコーディングを行う
10	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ボーカルレコーディングを行う
11	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ハードプラグインを使用しミキシングを行う
12	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ハードプラグインを使用しミキシングを行う
13	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ハードプラグインを使用しマスタリングを行う
14	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	プレゼンテーションリハーサルを行う
15	/	演習	卒業進級展で発表する	企業プレゼンテーション本番を行う
16	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	グループ編成・ミーティングを行う
17	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	アレンジを含めた伴奏とメロディーで楽曲制作を行う
18	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	アレンジを含めた伴奏とメロディーで楽曲制作を行う
19	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	FXを入れる
20	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	LOOPを入れる
21	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	LOOPを入れる
22	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ドラムレコーディングを行う
23	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ギターレコーディングを行う
24	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ベースレコーディングを行う
25	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ボーカルレコーディングを行う
26	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ハードプラグインを使用しミキシングを行う
27	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ハードプラグインを使用しミキシングを行う
28	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ハードプラグインを使用しマスタリングを行う
29	/	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	プレゼンテーションリハーサルを行う
30	/	演習	卒業進級展で発表する	企業プレゼンテーション本番を行う
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				